

No.590

光は見えるのか

広報

このく

2005 7



1秒間世界一周

20世紀最大の発明と言われる「つながり」が世界を大きく変えています。

パソコンとパソコンとが連鎖的に世界中をくまなく、つながっているのがインターネット。

飛行機や国際電話、通信などの普及は、私たちの「世界の大きさ」に対する感覚を小さくしてきましたが、インターネットの登場によりさらに小さく感じるようになりました。

高速のインターネットは、文字や画像、音声といったデータを一瞬のうちにやり取りします。そのスピードは「1秒間世界一周」。

パソコンの急速な進歩も「1秒間世界一周」を支えていまます。パソコンのエンジンと言われるCPUの情報処理能力は、

この10年で約60倍に進化。「質が高くなる」と同時にパソコンはより「わかりやすく」「使いやすく」進化し、いつそう身近な存在となっています。生活や社会のすみすみにコンピュータを存続させ、コンピュータ同士が連携することで、利便性を向上させようというユビキタス構想も進んでいます。

インターネットの原型が生まれたのが1969年のアメリカ。時は冷戦時代、相手国が攻撃をしてきて、コンピュータが破壊されても大丈夫なように、離れた場所にいくつかのシステムを作つておけば安心という発想からインターネットは生まれました。つまり、一極集中型ではなく分散型のネットワークをつくらうというのがインターネット。

自浄能力を失った集中過密が環境問題を引き起こしたという説があります。このことに限らず、一極集中から分散型の社会を作つていこうという動きが最近さらに高まっています。その際に強力な手段となるのがインターネット。そもそもインターネットは集中よりも分散を志向したわけで、現在の社会の動きと相性がよいものといえます。

「地方が自律し、自己責任をもつて地域づくりを行うことができる分権・分散型社会にならなければならない」と地方分権が進められていますが、その際にインターネットを活用するという視点は大事です。町の中で機能を分散させたり、住民参加を進めたりする際にもインターネットは有効なはず。インターネットと云うと、都市の文化のように思えますが、田舎にこそふさわしいものなのかもしれません。いつでも、どこでも新鮮な情報が入手でき、情報発信も出来るインターネットは、田舎の価値を高めているという側面も確かにあります。

今このときにも、地球上では、いくつもの「1秒間世界一周の旅」が繰り広げられ、ある人は「楽しみ」、ある人はそこで「チャンス」をつかんでいます。この町に住んでいる私たちもその「楽しみ」や「チャンス」を喜しく受けることが出来るはずです。

田舎こそインターネットの光を。

今月は「インターネットをめぐり九重町で問題となっていること」を取りあげます。

この町だけにないもの

NOTE

プロードバンド空白地帯

昨年9月現在、プロードバンドが接続されていないのは？自治体であったが、市町村合併が進んだため、自治体単位としてプロードバンドが接続されていないのは九重町のみとなった。

90%

今年3月末現在、大分県内でADSLが使える環境にある世帯の割合（注）。

70%

今年3月末現在、大分県内で光ファイバーを使える環境にある世帯の割合（注）。

（注）ADSLの距離条件（左ページ参照）や光ファイバーの加入条件等により、実際は若干少くなります。

大分県の地図で、九重町だけ

ぽっかり空いたものがあります。

この町だけにないもの。

それがプロードバンドです。

NOTE

光ファイバーとは

光通信を行う直径0.1mmほどのガラス纖維。高速で安定しているなどの特徴がある。光ファイバーは国家戦略であり、国は2005年までに少なくとも1000万世帯に光ファイバー網を普及させたいとしている。

日本は、プロードバンド先進国といわれます。理由は民間業者の台頭、技術面と価格面の競争により、世界一速いスピード、そして圧倒的に安い価格でプロードバンドを利用できる環境にあります。もはやインターネットは仕事や生活を充実するにはなくてはならないもの。しかも安い金額で利用できます。ただし、これは限られた地域のみでの話。プロードバンド環境は民間業者に負うところが多いのが実態。採算性の合う地域しか進出しません。九重町は広大な面積を持っています。このことがプロードバンドに関してはあだとなつたようです。県内唯一のプロードバンド空白地帯（→NOTE）となつてしましました。民間業者進出の話も今のところありません。

社会はプロードバンド化の波に乗り未来へと進んでいっています。九重町の未来をどうするのか。決断を下す時期は来ています。

インターネットが本格的に登場したのが約10年前。始まつて数年間、インターネットを利用する際、主に使っていたのが電話線。しかし、社会の進歩とコンピュータ技術の発達により、やり取りするデータ量が多くなっていき、電話線では対応できなくなってしまいます。そこで登場したのがプロードバンド。電話線に比べ、容量の大きなデータをスムーズにやり取りできるのが特徴です。細い管で目詰まりを起こしていたのが、太い管に替わったため、目詰まりしなくなつたようなこと。その速度も急速に速くなりました。電話線に比べ、プロードバンドのひとつ「光ファイバー」（→NOTE）は1000倍以上のスピードでデータのやり取りが出来るといいます。

ブロードバンドって何？

ブロードバンドを日本語に訳すと「広帯域」。データの転送に使う周波数域が広くなつたことから名づけられました。このことにより「高速・大容量」のデータをやり取り出来るようになったことから「ブロードバンド=高速・大容量インターネット」という意味が定着しています。従来の電話線（アナログ）を使ったインターネットとは違い、つなぎっぱなし一般的。月額などの定額料金を払いさえすれば、電話料を気にすることなく利用できます。

ブロードバンドで代表的なのが ADSLと光ファイバー

ADSLは既存の電話線を利用したもの。デジタルデータ（→NOTE）は1と0の信号を組みあせてつくります。ADSLは電話線を通す際に、いったんアナログに変換。それを、受けて樹はモ뎀という機器を使ってデジタルデータに再変換します。今、ブロードバンドの主役となっているのがADSLです。特徴は価格の安さ。民間業者の競争により月額3,000円くらいで利用でき、スピードも十分あるため、人気を集めています。しかし、ADSLには大きな欠点があります。ADSLは、デジタルデータをいったんアナログデータに変換します。デジタルデータは1と0の信号を組み合わせて作ります。ところがADSLはいったん、このデジタル信号をアナログに変換するため、徐々にその組み合わせの形がはっきりしなくなり、使えなくなってしまいます。ADSLは電話交換局から4キロを超えると極端にスピードが落ちます。九重町の場合、交換局から4キロの円外にあるところが多く、すべての人がADSLを活用できるわけではありません。むしろ限られた人のみと言つてよいと思います。試算によると、町内でADSLが整備された場合、利用できるのは3割から4割。また、主な部分がアナログ回線ですので、デジタル化社会、高齢化社会に対応した用途に広げることも難しいとされています。

NOTE

デジタルとは

0と1の信号を使って、文字や数字、音声、映像などを処理するもの。映像などは0と1の信号に細分化されるので、劣化しないなど優れた点がある。（アナログ映像を細かく区切って0と1に書き換えたのがデジタル映像）。

NOTE

双向性とは

テレビなどのように情報を一方的に受けるのではなく、対話的に情報をやり取りできること。

NOTE

電線を使ったインターネットとは

電線を使ってインターネットを利用する技術。電話コンセントとパソコンをつなぐだけで高速インターネットができるようになる。実用化に向けた試験などを行なっているが、もれで審査がアマチュア用端などに影響を与えるとの指摘もあり、実用化できるかどうかは未定。

選択肢は光ファイバーがベスト？

光ファイバーは夢の回線でした。

しかし、夢は予想以上早く私たちの生活に訪れています。

光ファイバーはADSLとは違い、デジタルデータをそのままやり取りします。光ファイバーは、ガラスの纖維の中に光を通すことでデータをやり取りするので、デジタル信号の劣化も少なく、超長距離でのデータ通信が可能となります。もちろん、電話交換局から遠いと実用性がないというADSLの欠点は光ファイバーにはありません。しかも電波障害などを受けることなく安定。「双方性（→NOTE）」という面でも優れています。家庭や事務所から情報発信をする場合、ADSLの20倍から100倍のスピードでデータを送ることが出来ます。この機能を使うことで、インターネット以外の用途にも容易に対応できます。

このほかに無線を使ったネット通信が考えられます。実用面で今ひとつ。また電線を使ったインターネット（→NOTE）の研究も行われますが、実用化までにはしばらく時間がかかりそうです。

現時点では、全世帯がおしなべてブロードバンド環境を整える場合は、光ファイバーがベストの選択と九重町には言えます。しかし、問題はその経費です（7ページ参照）。



ブロードバンドで生活を楽しくする

音声や映像などの大きなデータをすればやく、やり取りが出来るのがブロードバンド。たとえば見たい映画がある場合、インターネット上のホームページ(→NOTE)からダウンロード(データを手元のパソコンに転送すること)することで見ることができます。2時間の映画をダウンロードする場合、光ファイバーだと約7分(電話線だと166時間もかかります)。音楽をダウンロードして楽しむスタイルは、ブロードバンド環境が整った地域ではすでに定着しています。情報を見るだけでなく、発信するのも得意。自分でホームページやブログ(→NOTE)を作り、世界中の人たちと交流するのも簡単です。最近は、ブロードバンド環境が整っているという前提のホームページが多く、写真や動画を掲載したものが簡単に。逆に言うと、そのようなホームページしか見てもらえない。情報発信にもブロードバンドは必須です。ネットショッピングも楽しみのひとつ。遠くまで出かけないと手に入らなかつた品物が簡単に、しかも早く入手できます。また、いくつかの条件があります。たとえば、電話料がタダになることも可能(→P.電話)。テレビ電話の実現も視野に入っています。

■情報を転送するのにかかる時間

	フロッピー1枚	音楽CD1枚	2時間の映画
電話線(ISDN)	2分	16時間半	166時間
ADSL	0.8秒	7分	1.1時間
光ファイバー	0.08秒	40秒	7分



田舎にいながら文化を楽しむってすばらしい

麻生 弘さん

● 麻生さんは町内で歯科医を開業、仕事でもインターネットの活用が増えてきています。そのひとつがメーリングリスト(グループ内でメールを使って情報交換をするときに主役になるのが画像)。しかし、麻生さんの診療所のインターネット環境は電話線。

「病院でも画像のやり取りなどでインターネットは欠かせないものとなっています。町内の医

院も主役。改正された診療点数に対応させるため、約半年毎にソフトの更新が必要となりますが、やっぱりネット経由が主流。しかし、電話線では時間がかかるため、麻生さんは未だCD-ROMを取り寄せ、それでCD-ROMを更新。タイムラグが生じてしまい問題が起こりかねない状況だ

そうです。『病院でも画像のやり取りなどでインターネットは欠かせないものとなっています。町内の医

院も主役。改正された診療点数に対応させるため、約半年毎にソフトの更新が必要となりますが、やっぱりネット経由が主流。しかし、電話線では時間がかかるため、麻生さんは未だCD-ROMを取り寄せ、それでCD-ROMを更新。タイムラグが生じてしまい問題が起こりかねない状況だ

「安心で早いですからね。すごく便利です。ホームページ上で試聴できるようになっています。ですが、電話線だったら、ものすごく時間がかかるんですよ。やっぱりブロードバンドがあつたらいいですよねえ」

もうひとつ興味が千体以上はあると思われるフィギュア(食玩)。多くをネットオークションで購入したそうです。『一日に1時間はインターネットをしています。ブロードバンドがあれば数十分で済むと思うんだけど……』

麻生さん宅では2人の子どもを含め、家族そろってインターネットを楽しんでいます。『勉強する時間が少なくなるんじゃないかと心配(笑)。でも、インターネットの可能性は無限大。自宅で映画を取り寄せることも可能になっています。なかなか文化に接する機会のない田舎で、自宅にいながらにして映画や音楽を楽しめるのは、すばらしいことです』

「なので、画像での参加が出来ない。これは痛いです。ブロードバンド環境がないのは、うちだけです。歯の矯正治療もうちはしているのですが、よりレベルアップした治療をするため、研修を受けている先生と連絡を取り合うのですが、やっぱり画像が必要ですね」

● 「インターネットだけに使うのはもつたらない。たとえば高齢者の緊急通報装置や遠隔医療、健康診断にも活用が出来るのでないかと。実際に導入している地域もありますよね。テレビを併設することで町議会などを自宅にいながら見ることも出来ます」とブロードバンド化への期待を話すのは麻生弘さん。

● 「インターネットだけに使うのはもつたらない。たとえば高齢者の緊急通報装置や遠隔医療、健康診断にも活用が出来るのでないかと。実際に導入している地域もありますよね。テレビを併設することで町議会などを自宅にいながら見ることも出来ます」とブロードバンド化への期待を話すのは麻生弘さん。

● 「インターネットだけに使うのはもつたらない。たとえば高齢者の緊急通報装置や遠隔医療、健康診断にも活用が出来るのでないかと。実際に導入している地域もありますよね。テレビを併設することで町議会などを自宅にいながら見ることも出来ます」とブロードバンド化への期待を話すのは麻生弘さん。

● 「インターネットだけに使うのはもつたらない。たとえば高齢者の緊急通報装置や遠隔医療、健康診断にも活用が出来るのでないかと。実際に導入している地域もありますよね。テレビを併設することで町議会などを自宅にいながら見ることも出来ます」とブロードバンド化への期待を話すのは麻生弘さん。

bosは1秒間に送ることのできるデータ量

種別	速度	メリット	デメリット
アナログ及びISDN回線（既存の電話回線） 月額利用料 6,000円 (電話基本料金を含む)	0.04Mbps～0.064Mbps	現在、九重町で利用できる唯一の回線、町内どこでも接続できる。	速度が遅く、現在主流である動画・音楽のダウンロードが事实上不可能。
ADSL回線 事業費 7千円程度 月額利用料 6,000円 (電話基本料金を含む)	1.5Mbps～40Mbps	既存の電話回線を使用して高速のインターネットが利用出来る。日本で普及している方式。	電話交換局から離れる(6キロ以上)と利用出来ない。九重町では4割から3割程度利用出来ない家庭が出てくると思われ、通信可能な世帯でも交換局から離れる(4キロ)と速度が極端に遅くなる性質を持つ。
CATV (ケーブルTV) 事業費 15億円程度 月額利用料 5,000円～6,000円	1Mbps～20Mbps	テレビの共聴放送などの同軸ケーブル等を利用して高速のインターネット。今後予定される地上デジタル放送も視聴可能。テレビ放送を行うことによりインターネットを利用しない世帯も導入可能であり加入率の向上が見込める。	導入コストが高い。国などの補助金を利用する場合、自主放送も補助条件となるため導入コスト・運用コストが上がるのが予想される。
光ファイバー 事業費 7億円程度 月額利用料 4,000円～6,000円 (町内の世帯3割程度の場合)	30Mbps～100Mbps	安定した高速のインターネットが利用できる。機器の追加で放送も可能。	導入コストが高い。
NTTによる無線インターネット	30Mbps	九重町が整備する地域イントラ（公共施設を結ぶネットワーク）を利用し、アンテナを設置。半径800mをエリアとする。エリアにインターネットサービスを利用する世帯が35世帯以上必要。	アンテナと家の間に障害物があれば800mのエリア内でもサービスが利用できない。また、集落単位で35世帯以下の場合はサービスの提供がされない。

データ量が今後増加することや、将来的に通信基盤を構築することを考えると、光ファイバーが最良だと考えられています。

現状は光ファイバーによるインターネット利用がブロードバンドの本命といわれており、通信事業者の提供する光ファイバー接続サービスは加入数を増やしています。ADSL等、他の回線方法を用いても最終的に光ファイバーに移行するものと思われます。

*事業費は条件によって変わってきます。

現在の技術で、
町内にインターネット通信網をひくとすると、
どんな方法が考えられますか？

最良の方法と言われる光ファイバーは
7億円かかるようですが、
高額でイメージがつかめないんですが。

光ファイバーを
敷設するために
補助制度がありますか？

あります。総務省の「加入者系光ファイバーグラウンド整備事業」「地域イントラネット基盤施設整備事業」で、補助率は3分の1。ただし、この事業は今年度で終わるため、整備をする場合には、今後予想される類似事業を利用することになります。また、補助以外の部分についても過疎債等の優良債を利用することが考えられます。

庁舎周辺の建物がこれだけかかっています。

活きいきランド 16億円
(多目的広場、野球場など)

保健福祉センター 6億円
文化センター 15億円
温泉館 2億円
庁舎 20億円



ブロードバンドで仕事が出来る

仕事をする上でインターネットは欠かせないものとなっています。調べものはもちろん、メールでのやりとりは、もはや常識。容量の大きな文書や写真をやり取りすることは日常ですが、これが電話線だと時間がかかるてしまい、極端な場合、その間は仕事が出来なくなってしまいます。事業所でホームページを作り情報発信しているところも町内には数多くあります。旅館・ホテルの多くもホームページを開設しており、予約なども「ネットを通じて」が増えています。しかし、見てもらえるホームページには写真や動画などを盛り込むことが求められます。ストレスなくホームページ作りが出来るブロードバンドの整備を待ち望む声が町内の事業者から多く聞こえます。また仕事に必要なソフトウェア(→NOTE)や資料をインターネット経由で取り寄せる方法が主流になっています。しかし、これも年々容量が増えており、電話線を使つたインターネットではとても対応できません。

一方、ビジネスチャンスもインターネットの中にはたくさん。傾きかけていた商売がネット上に店を開いたことにより持ち直し、昔以上に繁盛したという例はたくさんあります。ただ待つていてもお客は来ない、積極的に情報発信をしていく。これは商売をしていく上での鉄則。特に過疎地となっている九重町の商業は苦戦が続いている。これを打開していく上でもブロードバンドはなくしてはならないものです。



ネット上の大型ショッピングモール出店への誘いがあるけど、現状ではムリです
秋好淳也さん

自宅で酒屋を営む秋好淳也さんは、ホームページを開くと最初にこんな言葉が「簡単なホームページ恐縮です」とはいつまでも、なかなかのもの。取扱商品のほか、観光名所や自分の趣味などを紹介。一見、普通の酒屋さんにみえる秋好さんの店ですが、ほかでは見かけないものを販売。ホームページ上にある「厳選一産卵・飼育材の販売ページ」という文字をクリックするとその答えが出てきます。

受信するのに30分以上かかることもあります。この間は仕事にならず、他のお客さんに迷惑をかける側の秋好さんは電話線。

「どう使うか」という面で、秋好さんがいつも心配になることがあります。配達などを通じて、ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯の多さを実感するといいます。「ブロードバンドを利用して見るといいなあ」と思っています。秋好さんも「いろんな角度から紹介できるので、動画を使いたいが、電話線では無

す。現在のインターネット環境はISDN(電話線)。このため、写真のやり取りをするのは、いつも苦労しています。「画像を小さな容量にして送らなければならぬんで不自由しています。お客様から写真付のメールで問い合わせが来ることもあります。お客様から写真付の写真を送るのもあつて、何の悪気もありません。しかし、相手側は高速回線。2、3枚の写真を送るのもあつて、どう使うかが大事」。

秋好さんも所属する商工会青年部でも、「経営強化のために必須」と数年前からインターネットの勉強をしてきたものの、ブロードバンド環境が整っていないことが大きな壁に。昨年、青年部のホームページを開設し、活動状況を動画で載せようとするも難航。今でも、自分たちで作つた動画を町内で見ることは、不可能と。

秋好さんも所属する商工会青年部でも、「経営強化のために必須」と数年前からインターネットの勉強をしてきたものの、ブロードバンド環境が整っていないことが大きな壁に。昨年、青年部のホームページを開設し、活動状況を動画で載せようとするも難航。今でも、自分たちで作つた動画を町内で見ることは、不可能と。秋好さんも所属する商工会青年部でも、「経営強化のために必須」と数年前からインターネットの勉強をしてきたものの、ブロードバンド環境が整っていないことが大きな壁に。昨年、青年部のホームページを開設し、活動状況を動画で載せようとするも難航。今でも、自分たちで作つた動画を町内で見ることは、不可能と。秋好さんも所属する商工会青年部でも、「経営強化のために必須」と数年前からインターネットの勉強をしてきたものの、ブロードバンド環境が整っていないことが大きな壁に。昨年、青年部のホームページを開設し、活動状況を動画で載せようとするも難航。今でも、自分たちで作つた動画を町内で見ることは、不可能と。

大型ショッピングモールとは、インターネット販売をしている店があつたホームページ(電子商店街)。個々の店にとっては、ショッピングモールの持つ集客力を活かせるというメリットがある。ホテル等の予約もこの手法を用いるところが増えている。代表的なショッピングモールは楽天、ヤフー、ビックカメラ。

ソフトウェアとは、コンピュータはソフトウェアがなければ「ただの箱」。ワープロや会計計算などが出来るように、コンピュータに様々な命令を行なうのがソフトウェア。



■秋好さんホームページ

<http://www.tikiine.jp/~aki-yoshi/>

用することで、新たな可能性が出てきます。インターネット上にホームページをつくり農産物を売る、というスタイルは最近急速に増えており、売り上げも伸びています。

「九重町の豊かさ」は、まだまだ全国的に知られていません。ブロードバンドを使って積極的に情報発信することで、「九重ブランド」が浸透。様々な産業に効果をもたらす可能性は十分にあるのです。

ブロードバンドで

安全を守る

インターネット社会には危険も潜んでいます。コンピュータウイルスもそのひとつ。インターネットなどを通じて、事業所や家庭などのパソコンにいつの間にか忍び込みデータ破壊などを行うもので、ここ数年急激に増加しています（下グラフ参照）。コンピュータウイルスに対応するため、ソフトウェアは頻繁にアップデート（内容を最新のものに更新すること）されます。アップデートは専用のソフトウェアをダウンロードすることですが、パソコンの高度化に伴い、年々その容量が増えています。これを電話線でダウンロードしようとすると、ひどい場合は一晩かかることがあります（ブロードバンドなら、せいぜい数分）。これでは頻繁に行われるアップデートには対応できず、ウイルスには無防備のまま、大変危険です。ブロードバンドの必要性を考える上で、コンピュータの安全を守るということは欠かせない視点です。

穴井和興さん・美幸さん夫婦は設計事務所を経営中。現在のインターネット環境はISDN（電話線）。仕事柄、データ容量の多い図面や写真をやり取りすることが多く、ブロードバンドがないことの不自由を感じるのは毎日です。

「設計図面を送るのは、データ圧縮（容量を小さくすること）をするのですが、それでも大きいのは20～30分かかります。特に写真が大変。2枚分くらいしか送ることが出来ないんですよ」と和興さん。これまでブロードバンドがないことでのトラブルはないものの、データを送つている数十分間はパソコンの前から離れることが出来ず、次の仕事に移れないこともたびたび。

「本当にデータを送る必要があると思っているんで時間がかかるので、仕事のない夜中にまとめて行っています」



ブロードバンドがないことで、この業界はもっと厳しくなります

穴井和興さん・美幸さん

い気が引けてしまいます



建設業界の人たちともブロードバンドの必要性をよく話すそうです。

「平成19年度からは電子入札と電子納品（→NOTE）が完全に入りますが、そうなるともうと大変になります。入札自体はそれでもないかも知れませんが、電子納品で完成写真を送り込むのも今や「インターネットを通じて」が主流。しかし、年々内容が充実し、それに伴って容量が大きくなつておりますが、ISDN（電話線）ではとても無理」



NOTE 電子入札とは

国や地方公共団体が行う工事について、入札に伴う資格確認申請から入札結果発表までをインターネット上で行うこと。

電子納品とは

設計や工事などの最終成果を電子データで納品すること。



老舗にも時代の スピードが 求められています

八鹿酒造株



熊谷光顕さん

「あつて当たり前のものがいいからどうにかしてくれ、というのが今の状況と違うんですよ。しかし、いざ入ったとき、どう活用していくかは会社の課題。いずれにしてもインターネットは力を入れていかなければならないところ、今はその模索中ですね」

こう話すのは八鹿酒造株総務部次長の熊谷光顕さん。同社は3年ほど前からホームページ上で販売を開始。徐々に売り上げを伸ばしています。同社のホームページは老舗らしく、文字と静止画で構成されたおとなし目のデザイン。現在のインターネット環境はISDN(電話線)。大きなデータのやり取りが難しいため、「おとなし目のデザイン」を強いる面も確かにあります。サーバー(→NOTE)はプロードバンド環境のある大分市でレンタル。保守料等の負担が大きいのが悩み、プロードバンドが入ったサーバーを自社で持つことが可能となり、コストダウンが期待できると話していました。

ホームページの運営だけでなく、八鹿酒造ではシステムを導入しています。ここでも電話線ゆえの不

宝泉寺温泉にあるホテル龍泉閣の関屋典子さん(今年1月1日から同ホテル女将)は、経営上で一番重要な「情報が求められる側」の充実を図るために、5年ほど前からホームページを立ち上げています。関屋さんが心がけているのが、「動きのあるページづくり」。日記のページが準備され、ほぼ毎日書き加えられています。

「今は事細かで新鮮な情報が求められていると思うんです。それに、当たり前じゃない情報

●
「当たり前じゃない情報」とは、たとえば情報誌などにはあまり取り上げられないようなこと。関屋さんのホームページで特筆なのが、「九重ガイド&アクセス」のコーナー。地元の人しか知らないような町内の、場所や店舗などを次々に紹介。関屋さん自身も「バスガイド」扮(ふん)して登場。3日間で一気に取材したそうです。また

●
「お客様から励ましのメールを情報を得る取扱かりとして、テレビや情報誌というのは、やつぱり一番の存在だと思います。ただし、最近では、まずテレビなどで情報を得て、ホームページで確認して、予約というケ

●
「取材時点(6月)のホームページには、ホテルが舞っていました。だから、ホームページを見て、どんな施設で、どんな観光が出来て、どう

旅への想像を ふくらませるような ホームページを つくっていきたいです

関屋典子さん

客様がいろいろと想像をふくらませることが出来る、そんなものにつくっていきたいと思います。私たちが九重町のすばらしいことをしっかりと知つておくことも必要です。そのためにも「九重町の公式ホームページの充実をぜひ!」とのことです。

さうでもなく「見てもらえる」ホームページづくりのためには、ビジュアルがポイント。同ホテルのインターネット環境は電話線。ホームページづくりに苦労しているほか、「お客様からの問い合わせで、エリア外の観光地を、インターネット上に地図をプリントして差し上げることがあるんですが、処理に時間がかかり、お待たせして申し訳ないなあ、と思うことがあります」。予約管理画面を開くときなどにも不便を感じるそうです。また最近はパソコンを持ち込む観光客からの要望が大きいためです。

●
サーバーとは
ホームページやメールを格納するコンピュータ。白いなどのパソコンはサーバーを通じてインターネットにつながる。

●
「一工夫が楽しい関屋さんのホームページにはファンが多く、その影響か、客層も若い人が多くなってきてるそう。予約もインターネット経由が増え、平均5割程度、シーズン期には8割程度になつたこともあるそうです。」

●
「お客様から励ましのメールをいただくなり、活動がされる日々です。自分が活躍できる場が本ホームページと思ってます。夏に向けて、次の展開を作戦中です(笑)」

●
「取材時点(6月)のホームページには、ホタルが舞っていました。だから、ホームページを見て、どんな施設で、どんな観光が出来て、どう

自由をいつも感じると話します。

黒谷さんは「東京や大阪支社の社員はプロードバンド環境が整っているので画面の切り替えなどが瞬時に処理できるのですが、本社側は電話線なので、データの送受信などで時間の無駄が出ていますね」。自社でプロードバンド回線を引くことも検討しましたが、年間百万円単位の経費がかかることになり断念。今なお電話線での利用に甘んじている状況です。

経営戦略を考える上で、重要なのが広告。ひとつの広告が出来上がるには大量の画像をやり取りすることになりますが、これもインターネット（メール）を通じてが主流。

同社の広告やホームページを担当する高倉正樹さんは、インターネットにつなげるたびにプロードバンドが欲しいと思うと話します。

「本当に力を入れなければいけないところで、データのやり取りは頻繁にやらなければいけないんです。が・・・腰が引けてしまうことがありますね」。ラベルのデータをやり取りするのも30分以上。ラベルといえど商品の顔。一方、会社の顔として重要なのは、インターネットにつなげるたびにプロードバンドが必要と前出の黒谷さん。

ふたつの顔に磨きをかけるため、やはりプロードバンドは必要。140年を超える伝統ある老舗にも時代のスピードが求められています。



■八鹿酒造ホームページ
<http://www.yatsushika.com/>

「ネットで販売＝儲けにつながるほど甘くはないと思います。

ただ、インターネットの活用には無限の可能性があるというのを確かです」

現在、鷲頭さんは玖珠郡農村青年連絡協議会の会長。インターネットに対する会員の関心も強く、今年1年間は鷲頭さんのホームページを兼ねることに。

「今度、名古屋で協議会の全国大会があるので、そこでも広め



情報は「宝」。 ホームページは 「最高の名刺」

鷲頭将治さん

「農業生産者の顔がみえたり、息吹が聞こえたりするようなホームページを作つていただきたいと考えています」

こう話すのは飯田高原で牧場経営をしている鷲頭将治さん。今年のはじめから準備を進め、6月にホームページを開設したばかり。見やすいものをつくるため、いろいろと研究するのが大変だったそうですが、「思いのほかハードルは低かったです。みんなが持てる可能性があるものだと思いました」。

ホームページをつくっていく上で心がけたが「包み隠さず、楽しいものをつくりていくこと」。それに「動物を飼う楽しみ、苦しみを伝えたかった」と鷲頭さん。「アーマルトーク」というページには、自宅で飼われている犬や猫、ヤギ、馬といった動物たちが月替わりで登場。ただ写真を載せるだけでなく、こ

んなことをしゃべっているんじゃないかな」と、動物たちの独り言をつけたのがポイント。鷲頭さんの家族も出演。父親の栄治さんは「親父の背中」というページで登場。栄治さんの仕事に対する姿勢・生き様を「背中」を見て育つてきた鷲頭さんらしいページと言えます。

「一人（人間）の力では出来ない。自然や動物などの相手あつてのもの、というのが農業のよさ」と話す鷲頭さん一家の「動物を飼う楽しさ」だけでなく、「農業の楽しさ」を謳歌する声が聞こえてきそうです。

農業分野でも急速な広がりを見せているのがネット通販。鷲頭さんの周辺でも、県内の友人の多くがすでに始めているそう。自身も通販は視野に入っています。2005年、ホームページへの扉を開設。新しい歴史がまたスタートしました。

鷲頭さんのホームページには、両親の長年の夢だったという「農家レストランべんこ」のホームページにもリンクでつながっています。また、1889（明治22）年の入植以来の鷲頭さん一家の歴史も紹介されています。1999年の頃には次のようなことが。

「三代目『将治』が大学卒業と同時に就農。彼にはもうひとつ夢があった」



■鷲頭牧場(イーグル・ファーム)
<http://www.eaglefarm.net/>
■農家レストランべんこ
<http://www.eaglefarm.net/bebenko/index.html>

ブロードバンドで

学べる



NOTE

SOHOとは

インターネットを活用して自宅などの小さな事務所で事業を起こすこと。会社と自宅などをインターネットで結んで仕事場にした場合も言う。Small Office Home Officeの略

e-ラーニングという言葉を最近良く聞きます。これはホームページを通じて勉強することで、録画画像を見る非同期型、教室に直接参加する同期型の2種類があります。また同期型の機能を利用して世界中の人たちと交流することも可能となり、国際化を学ぶ上で有効な教材となります。最近の中学校・技術家庭の教科書の半分以上は、パソコンやインターネットに関するこど。教育現場でもデジタル化社会に対応しましたひとづくりは重要な位置づけとなっています。九重町内の小中学校にはパソコンが整備され、光ファイバーも開通していますが、しっかり学ぶには家庭でのブロードバンド環境整備も必要。町内の子ども達からは「もっとインターネットを使いたい」という声がたくさん聞こえています。

e-ラーニングという言葉を最近良く聞きます。これはホームページを通じて勉強することで、録画画像を見る非同期型、教室に直接参加する同期型の2種類があります。また同期型の機能を利用して世界中の人たちと交流することも可能となり、国際化を学ぶ上で有効な教材となります。最近の中学校・技術家庭の教科書の半分以上は、パソコンやインターネットに関するこど。教育現場でもデジタル化社会に対応しましたひとづくりは重要な位置づけとなっています。九重町内の小中学校にはパソコンが整備され、光ファイバーも開通していますが、しっかり学ぶには家庭でのブロードバンド環境整備も必要。町内の子ども達からは「もっとインターネットを使いたい」という声がたくさん聞こえています。

小中学校には一足先に未来が訪れている。ブロードバンド環境が整った公共施設が町内にはいくつもあり、小中学校もそのひとつ。それにはパソコンが整備され、全教科で取り入れの研究が進んでいるほか、小学校では総合学習の一環として、中学校では技術家庭の授業としても導入されています。これらの授業をサポートしているのが増田啓次さん。以前コンピュータ会社に勤めていたこともあり、約5年前からこの仕事に。取材した日は南山田小学校を受け持ち。2年生の授業では、文字の入力の仕方を教えていました。

「ノートの上での勉強に比べると、子どもたちの目がいきいきしている気がする」

選択肢を少なくするのは、町にとつても、子どもたちにとつても不幸だと思います

増田 啓次さん

と増田さん。子どもたちに聞いても「難しい」という答えは皆無で、「楽しい」という答えが大部分。最近では、インターネットを通じて学習教材が提供されることが多い、都市部と町村部の情報格差はなくなっています。知りたことがあつたときは、インターネットで検索すれば、すぐに答えを見つけることができます。しかし、「検索結果の画面の流れを眺めるだけで、わかつた気になってしまう点が気になる」と増田さん。生の授業では、文字の入力の仕方を教えていました。

「そこで終わってしまうんですね。でもそれは基本に過ぎません。知つたことをきっかけに現実を見つめ、考えることこそ大事だと思います」

インターネットで調べたことを適当につなぎあわせ論文などを完成してしまうことが各方面で問題となっています。小学校でも同じようなことが進行しつつあるのかも。

「もちろん、いいこともたくさんです。コンピュータは修正や前に使った情報の管理や再利用がとても簡単に出来ます。この積み重ねをうまくしていくことで、子どもの能力はものすごく伸びていくと思います」

問題は「使い方」。家庭でも「使い方」のルール作りをしっかりと欲しいと増田さんは話します。

「よく、バーチャル（仮想空間）の世界に子どもが閉じこもつて問題とか言いますが、昔から『不幸の手紙』とかバーチャルな世界はありました。だからコンピュータやインターネットが悪いというのではないんです。地域社会などの実体験との関わりがなくなっていることこそ、問題だと思います。九重町は、実体験で

かく環境が残っています。これとインターネットなどの先進技術が共存するメリットは大きいと思いますよ。町の魅力もそのひとつ。それにはパソコンが整備され、全教科で取り入れの研究が進んでいるほか、小学校では総合学習の一環として、中学校では技術家庭の授業としても導入されています。これらの授業をサポートしているのが増田啓次さん。以前コンピュータ会社に勤めていたこともあり、約5年前からこの仕事に。取材した日は南山田小学校を受け持ち。2年生の授業では、文字の入力の仕方を教えていました。

増田さんは7年前、町内へ移住。最初の頃は、それまでの経験を活かしたビジネスを始めようとしたが、環境的に厳しい断念。

「しかし、ブロードバンドがあれば、SOHO（→NOTE）みたいなものも可能になります。それがチャンスが出てきますよね」

町内に移住してきた人の中にも、情報紙を発行したり様々な交流を模索したりする人も多く、ブロードバンド化を望む声が多いといいます。

「強制的に全部入ってくる都市部に比べ、一步おいて、自分の目・考えで情報を選ぶことが出来るのも田舎の良さ」と増田さん。インターネットでも同じ。膨大な情報の中でいかに自分に必要な情報を見極めるかが大事になります。田舎暮らしとインターネットは以外と近い距離にあるのかも。

増田さん個人としてはブロードバンドの導入については半々と話します。

「また外で行動するほうが面白いから笑。確かにインターネットは必要ですが、これにしがみつかなくても良いと思います」

インターネットは必要。しかし、これに「どう接するかを考える」のはもつと必要、というわけ。

「インターネットがいるといふ人は使わなくていいわけです。ただし、選択肢としてブロードバンドは準備しておく必要がありますね。それに限らず、選択肢を少なくするのは、町にとつても、子どもたちにとつても不幸だと思います

町内の高齢者が学ぶ寿大学（154人）でコンピュータやインターネットについてのアンケート調査を行いました（6月20日）。回答があったのは95人（うち女性74人）。パソコンを持っているのは3人と少なかったものの、ワープロは14人が所持。これは同大学での分科会でワープロ教室が開かれている影響があると思われます。

コンピュータ社会に関して、「コンピュータは若い人向けと思うか」について質問したところ、「そう思う」と答えたのが6人（6%）だったのに対し、「そうは思わない」と答えたのが80人（85%）と圧倒的に多く、さらに26人が「コンピュータを使ってみたい」と回答。

また、寿大学で「コンピュータについての講義」を聴いてみたいと答えたのが42人。「思わない」と答えた24人を大きく上回りました。

コンピュータは「若い人だけ」のものではない

寿大学アンケート

Q.コンピュータやインターネットはあなたの生活を豊かにすると思いますか？



子育てに インターネットは なくてはならないもの

佐藤 忍さん

（育児サークル・ちびっ子）

現在、「ちびっ子」の会員は親子約15組。月3回集まり、季節に合わせた行事をしたり、会話を楽しんだりします。集まつた人たちに聞いてみると、多かれ少なかれインターネットを子育てに活かしているようです。

母親の一人は「子育てで悩んだとき、インターネットを見ると同じ悩みを持つ人のことが出ているんですよ。みんな同じことを思っているんだな、って安心したことあります」。悩んだときはまずインターネット。ここでもインターネットが定着しつつあります。子育てといえば何かと物入り。ここででもインターネットが活躍。佐藤さんもネットオークションで子供服やおもちゃを安く購入し、助かっています。佐藤さんは続けます。

インターネットは距離に関係なく交流が出来るのも魅力。そこには思わず会いも。佐藤さんは続けます。



「ちびっ子」に関するお問い合わせは佐藤忍さん（☎ 781-8701）まで

インターネット上には、子育てに関するホームページが数多く存在します。そこには、子どもたちの成長を見守る喜びや悩み、貴重な情報などが日々書き加えられており、核家族化・少子化が進んだ現在、多くの親たちにとって、身近な相談相手・情報源として、なくてはならないものとなっています。

当時、結婚して天瀬町から引っ越しで、回りには知り合いがないなかつた佐藤さん。さつそくこの呼びかけに応じます。

「同世代の人の意見を聞きたいとも思っていました。子どもたちにとつても、異なる年齢の子と交流することで、いい影響が出てるみたいです」

佐藤さんは、これからもインターネットを子育てに積極的に活用したいと考えています。

「私たち夫婦もそうなんですが、子どもたちの勉強や趣味などにもインターネットをうまく利用させたいと考えています。最近はインターネットを使った犯罪や事件も少なくありませんが、子どもたちに『正しい使い方』を教えることも大事と感じています」

夫の徹さんも仕事やプライベートでインターネットではなくてはならないものとなつておらず、現在の九重町のインターネット環境に苦労している様子で、「プロトバンの必要性はよく聞く」と佐藤さん。

「私ですか？ プロトバンが入ったら、ブログ（→6ページNOTE）を始めてみたいですね。それと子どもたちは、テレビの人気キャラクターのホームページ上にあるゲームがしたいかなあ・・・電話線だと遅くて出来ないんですね」

ブロードバンドでまちづくり

使い道はインターネットだけではありません。ブロードバンド化には様々な可能性を秘めています。そのひとつが平成23年以降全面導入されると言われる地上デジタル放送（→NATE）への対応。地上デジタル波は直進性があるため、難視聴地域が出ることが予想されています。これを解決する手段として考えられるのが光ファイバー。また高齢者の安否確認や健康管理、さらには遠隔診断支援など、保健福祉分野への活用も考えられます。自宅にいながらして各種申し込みがインターネットを通じて出来る電子自治体も実現できます。

今年2月、「九重町まちづくり条例」が施行されました。中心となるのは「住民参加」と「情報公開」。住民のこの権利を保障する意味でも「ブロードバンド」は必要となります。

ブロードバンドで「懐かしい未来」へ

「懐かしい未来（Lifestyles for Nostalgic Future）」と書く

考え方方が大きな力を持つとしています。昔風のライフスタイルと最新技術とが融合することで、環境に配慮した持続可能な社会をつくつていこうという思いが「懐かしい未来」には込められています。

田舎暮らし志向が全国的に高まっています。それは単に昔に戻るういうのではないようです。インターネットなどと共に存し、不便のあまり感じない田舎生活を求めているようですが。自然が豊かで交通アクセスが良い九重町は、きっと多くの人に理想の町と映るはずです。

まちづくり条例より

- 第8条 住民は、まちづくり活動について、必要な情報の提供を受け、自ら取得する権利を有する。
第15条 町は住民の参画を保障するため、あらゆる手段を講じなければならない
第29条 町は、まちづくりに関して、住民の理解を得るために、情報公開及び情報提供のための措置を積極的に行なわなければならない。
第29条 町は、情報公開及び情報提供にあたり、住民にわかり易い方法を工夫しなければならない。

NOTE

地上デジタル放送とは

テレビ電波をデジタル（1と0の信号）で送信する方式。高画質化（ハイビジョン放送）や多チャンネル化、データ放送、移動受信向け放送など、新しい放送サービスが可能になるとされています。



町が浮上できるかどうかは、町の上層部や議会の議論と決断にかかっています

湯浅繁喜さん

「多くのみなさんは、インターネットといえは『遊び』、『余暇の利用』、つまり暇人が使うものと捉えてきたようです。でも、ライドア（ホリエ）・ヤフー（ソン）と楽天（ミキタニ）・ヤフー（ソン）という名前を聞いたことがありませんか？彼らは、『人・物・金』を動かしています。インターネットとは『人・物・金』を動かすものなのです」

こう話すのは湯浅繁喜さん。湯浅さんは数年前に脱サラし帰郷。現在は、通信会社の代理店や保険に関する事業を起こしています。仕事上でパソコンやインターネットは大切なパートナー。しかし、ブロードバンド環境が整っていないため、やむを得ず窓口と事務所は玖珠町に設置。

「九重町は自分の生まれ育ったところであり、恵まれた自然が近郊の県からかなり注目を浴びているというのを知っていました。こんなところで仕事をしたいなあと思つて帰つてきました。それに、光ファイバー（ブロードバン

ド）に入るという見込みも持っていたので、これについては楽観的過ぎたかなと。でも、自宅（九重町）で仕事できたら、少しは生活レベルが上がるかも・・・（笑）」

自宅でもインターネットを利用していますが、ウイルス対策や個人情報漏洩防止のために頻繁にソフトを更新しなければなりません。しかし、電話線ではいつも時間や費用がかかり苦労しているそうです。

湯浅さんが以前勤めていたのが大手通信会社。約10年前、人々の生活・社会に急速にインターネットが浸透していく現場を見ました。しかし多くの場合、最初の反応は鈍かつたといいます。

「その頃は大分市でインターネットの普及に奔走していましたが『インターネットで何が出来るんかい？』といつた声が多かつたですね。まさに今の玖珠がそのころの大分市と同じ状況です」

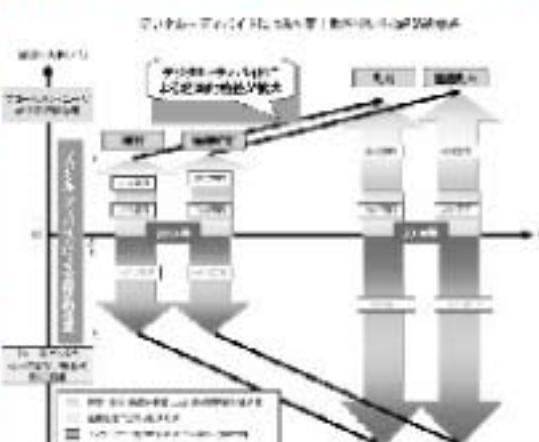
九重町は第3次総合計画で「定住人口1万人・交流人口2万人のまちづくり」をめざすとしました。人を呼ぶためにも、定住人口を確保するためにも、ブロードバンドはやっぱり必要です。

今年2月、総務省が発表した「ブロードバンド・ゼロ地域脱出計画」によると、過疎町村でブロードバンド導入済み地域と非導入地域とではプラス・マイナス合わせて126・3万円（1世帯あたり）の経済的格差が出ており、これが5年後には218万円まで拡大すると予想しています。3千世帯で計算すると、町全体で、今でも1年間に37億円以上の経済的格差が、ブロードバンド化地域との間に出ていていることがあります。

この計画では、ブロードバンドが使えない地域をゼロにすることが目標として掲げられています。それには民間の競争のみでは難しいと、特に九重町のような「整備の進みにくい地域」は地方自治体の役割が極めて重要となっています。

九重町では現在「情報化推進計画書」を作成しています。この案を16ページ以降に掲載しています。ブロードバンド化は必要。しかしネットはその経費。子どもから高齢者までが活用できる環境づくりも必要となります。

県内で唯一のブロードバンド空白地帯解消に向け取り組んでいくか、九重町の「懐かしい未来」がこれにかかるています。



▲ブロードバンド・ゼロ地域脱出計画
(総務省) より

約30回

第3次総合計画でまちづくりにITやインターネットの活用をうたった回数。



NOTE →

デジタル・ディバイドとは

パソコンやインターネットなどの機器技術を使いこなせない人との間に生じる機会などの格差。田舎間、地域間の格差を指す場合もある。

九重町の現状はそれ以下・・・と湯浅さん。現在、都市部では高速通信回線がなければビジネスが出来ない環境となっています。10年前、今の状況を想像できた人は、そう多くなかつたようだ。だからこそ、その重要性にいち早く気づいたライブドアなどの急成長があつたといえます。今や高速回線化の波は農村部にも及ぼうとしています。これから10年、農村部がインターネットと融合することで、ビッグチャンスが生れる可能性があるといえます。特に九重町には大きなチャンスがあり、早急に取り組む必要があると湯浅さんは話します。

「高速も通っている、福岡も1時間ちょっとでいける。自然開発がまだ進んでいない、・・・こんなすばらしい九重町に住んで、都市に居るのと同じように仕事が出来る。こんなところを求めている企業や人はたくさんいます。自治体がインフラ整備をして、自然を壊す、ハコモノ、開発ではなく自然を壊す。そして家族が来て、子どもが増える。そして商業も町に出て行つてしまふ現状よりもワクワクするような将来が見えてくると思いませんか?」

今ここに住んでいる人たちにとってもチャンスが出てきます。湯浅さんは続けます。

九重町では現在「情報化推進計画書」を作成しています。この案を16ページ以降に掲載しています。ブロードバンド化は必要。しかしネットはその経費。子どもから高齢者までが活用できる環境づくりも必要となります。

県内で唯一のブロードバンド空白地帯解消に向け取り組んでいくか、九重町の「懐かしい未来」がこれにかかるています。

九重町の現状はそれ以下・・・と湯浅さん。現在、都市部では高速通信回線がなければビジネスが出来ない環境となっています。10年前、今の状況を想像できた人は、そう多くなかつたようだ。だからこそ、その重要性にいち早く気づいたライブドアなどの急成長があつたといえます。今や高速回線化の波は農村部にも及ぼうとしています。これから10年、農村部がインターネットと融合することで、ビッグチャンスが生れる可能性があるといえます。特に九重町には大きなチャンスがあり、早急に取り組む必要があると湯浅さんは話します。

「速報医療もブロードバンドにより実現化に問題のないレベルになっています。テレビ電話を利用することで、高齢者向け施設や保育園などの施設をスマートでつなぐことだって可能です。ブロードバンドは若者や事業者だけのものではなく、高齢者や弱者のためのものでもあります。また防犯やセキュリティなどにも活用できますね。このほかに教育にも活用したり、町出身の都市部で勉学に励む若者を起業家として育てる制度もつくつたりして欲しいです。いずれにしてもインターネットなどの情報通信はここ10年で目覚しい進歩を遂げています。地方でも生活に深く関わってくる日はそう遠くないでしょう。ブロードバンドは我々の世代だけのものではないのです。孫子の代もその恩恵を受けることにつながります。九重町が強い町（自律の町）として浮上できるかどうかは、町の上層部や議会の議論と決断にかかっています。九重町が強い町（自律の町）として浮上できるかどうかは、町の上層部や議会の議論と決断にかかっています。そのうち、いつかは、ではなく今すぐに。チャンスは日々減っていると意識したほうがよいと思います」



情報化推進計画（案）の概要

そのために次のことを
「三本柱」にし、推進していきます。

九重町では情報化推進計画（実施期間は平成17～21年度）を策定中です。この計画がめざしているのは、情報通信技術（IT）の恩恵を住民誰もが受けることが出来る町をつくることです。

- A 光ファイバーによるブロードバンド化
- B 「予算」や「住民のみなさんの意向」などの要素を加味して判断すべきと考えています。これから「住民のみさんの意向」を調査しながら導入するブロードバンドの種類・時期を判断したいと考えています。

Q 一番住民が知りたいのは、町内のブロードバンド化についてと思います。

情報化の基礎となる部分で、大事なところと思うのですが？

計画案は「九重町パブリックコメント実施要綱（→NOTE）」に基づき、ホームページで公開されるほか、役場、文化センター、地区公民館（4ヶ所）で8月15日（月）まで公開されています。また概要版を区長文書で回観します。計画案に対する意見・提言等は8月15日（月）までに次のところへ（匿名不可）。メール、郵送、FAXいずれかの方法でお願いします。いただいた意見等については、町の考え方を加えて公開します（この際にはお名前は公表しません）。

bb@townukonoe.lg.jp 〒879-4895 九重町役場企画調整課情報化推進係 FAX 76-2247 → 76-3807

- ① 通信基盤の整備
 - (A) 町内の公共施設を光ファイバーなどの高速回線で結びます。
 - (B) 地域での高速インターネット環境の整備をします。

17年度にニーズ調査をし、期間中、調査・検討・整備
- ② 事務用パソコンの整備
 - 行政情報の電子化・共有化を推進します。

期間中、継続的に実施
- ③ 個人・組織認証基盤の整備
 - 電子申請などの際に、申請者が間違いなく本人であることを確認することです。

期間中、利用方法を調査研究
- ④ 施設整備
 - 自宅にパソコンがない人のために公共施設にパソコンを整備。

期間中、継続的に実施

情報化基盤の整備

わかりやすく

使いやすく

効率化運営するための行政情報化

質が高く

- ① 総合行政ネットワークシステムへの接続
 - 各地方公共団体と国・都道府県とのネットワークを構築し、情報流通を行う「総合行政ネットワークシステム（LGWAN）」への接続を行います。

期間中、整備促進
- ② 文書総合管理システム
 - 役場が受ける文書を電子化し、管理の向上を図るとともに情報公開に、よりいっそう対応できるシステム作りをしていきます。

17年度に検討し、18年度以降導入整備
- ③ 事務管理システムの導入
 - 庁内で行われている手続きをオンライン化し、事務の省力化・コスト削減を行います。

17年度に検討し、18年度以降導入整備
- ④ 総合福祉システムの構築
 - 複雑な事務を統合し、住民の利便性を向上させます。

期間中、調査検討
- ⑤ 電子投票（開票）
 - 期間中、調査検討

- ① 住民基本台帳ネットワークシステム
 - 住基カードのサービスの拡大をめざします。

期間中、利用促進
- ② 電子調達システム
 - 入札や契約などの一連の事務の電子化を図り、透明性や公平性の確保をめざします。

期間中、調査検討
- ③ 施設予約システム、電子申請・届出システム
 - 住民が自宅などにいながらにして施設予約や各種届出ができるシステムを検討していきます。

期間中、調査検討（施設予約）整備促進（電子申請・届出）
- ④ ホームページの充実
 - 継続的に実施

住民サービスの充実化

計画を支えるのがヒトの力。

職員の資質向上や研修、情報化リーダーの育成のほか、学校情報化の推進や情報生涯学習（IT講習会等）の充実、ボランティアのIT指導者の育成に努めることなども計画には盛り込まれています。また、「セキュリティの確保と個人情報の保護」についてはセキュリティポリシー（→ NOTE）により継続的に実施するとなっています。

NOTE

セキュリティポリシーとは、
公共機関や企業などで定められたデータ保護などに関する内部規則。
パブリックコメントとは、
政策を決定する際、その内容に住民から意見を募る制度。

みんなさんの
意見・提言を!

bb@town.kokonoe.lg.jp

「地域づくりの足跡」を いつまでも

地域づくりグループ「うるがの里・相口」のうち相口間地区の記念碑が完成。6月5日に現地で落成式が行われました。

同グループは、相口・口の園地区の住民で構成。「ひよっこ踊り」や「どんど焼き」などの伝統行事の保存、女性グループ・やよい会の加工食品やグリーン・ツーリズムの取り組み、さらにはジャンボ門松づくりなど多彩な活動を行ってきた地域グループに老人会や青壮年会も合流し平成16年に統一されたもの。同年には大分県農業賞むらづくり部門で優秀賞を受賞しています。

今回の記念碑は、同賞の受賞記念と、「今日までの歴史を振り返り、祖先の残してきたものを守っていく決意」を形にし、地域づくりのシンボル的存在にしようと、いうもので高さは約2・2メートル。住民が重機等を提供しながら延べ178人で作成。総工費は約230万円で、太宰府天満宮官司の西高辻信良さんの書による「うるがの里」の文字が刻まれています。また、相口間の住民名簿(29戸)も刻まれおり、「この里に生きた証」となっています。

除幕式に参加した坂本町長は、「自分で出来ることは自分で、地域で出来ることは地域で、地域で出来ないことは町で」という、「自律に向けたまちづくり」をしているが、この地区は手本。今後もがんばってほしい」と激励しました。

「うるがの里」では、伝統行事の保存などの活動のかか、同地区上流にある堤原「うるが台水台」周辺に桜の植樹などの整備を行っています。



うるがの里



川の美しさと資源、いつまでも



矢幡友浩くん
受ける野上小5年生

今年のテーマは「ふるさとの川美しく豊の國」。

玖珠川河川敷でアユ1,000尾を放流したあと記念式典が行われ。町内からは「やまめの安全養殖を通じ、県内外に安定した放流稚魚の提供」などを開催した「平水産」と「ホタルの幼虫の養殖放流を通じて河川環境美化」に取り組んできた「町田川と宝泉寺温泉郷にホタルを育てる会」の2団体が表彰を受けました。また、郡内の小学生を対象に募集が行われた「河川環境愛護標語優秀作品」の表彰も行われ、野上小学校5年生・矢幡友浩くんの作品「サワガニがにっこり川でかにあるき」が表彰を受けました。

その後「森林の整備を上下流域住民が一体となって取り組むための体制作り」を行うなどのアピールを行い、式典は終了。水産大学校助教授・浜野龍夫さんの講演「水産資源を増やす生態系を保つための川づくり」が行われました。

このフォーラムの中心となった玖珠郡漁業協同組合は、河川の清掃活動やアユ、エノハ、うなぎなどの増殖事業を行うとともにブラックバスの駆除事業にも取り組み、玖珠川の水産資源を守る活動を行っています。

「第18回大分県内水面漁業振興フォーラム」が5月30日、くすまちメルサンホール(玖珠町)で行われ、約350人が参加しました。主催は大分県などの関係機関で組織される実行委員会。内水面漁業の資源の維持拡大や河川環境保全を県民にアピールするために県内を巡回して開催されているもので、

農業後継者と女性との農作業などを通じての交流会「Very・Berry・Berry」が6月12日、菅原本村内の現地で行われました。玖珠郡農村青年連絡協議会(34人)が主催したもので、タウン情報誌などを通じて呼びかけたところ、大分市や福岡県などから女性25人の参加がありました。

開会式で同協議会会長の鶴原将治さんは「参加者のみなさんに農業体験を通じてリフレッシュしてもらい、同世代の農業仲間になってもらいたい。自分たち自身も交流を通じて、農業農村の良さを見直したい」とあいさつ。その後、参加女性は、協議会メンバー(12人)と合流し4班に別れ、田植えやワイルドベリーの植え替えを体験。

交流会は、この日を含め年3回計画されており、8月は「田んぼの草取りとブルーベリージャム作り」、10月は稲刈りが行われる予定です。

魅力発見!! 農家訪問バスツアー

日時：8月16日(火) 9時～12時

募集は、玖珠郡内の認定農業者の子弟、新規就農希望者20名程度です。

地域の先進農家を訪問します。

応募問い合わせは、玖珠九重地方振興局農業振興普及センター(▶ 72-0261)まで



▲参加者からは「とても楽しかった」と好評でした。



▲各班には名前がつけられました。この班は「たのしい農」。



▲豚なべを準備中

交流の実をやさしく包んで

右側が飯田かよ美さん



九重グリーン・ツーリズム研究会(安達道康会長)の主催する「りんごの袋かけ体験会」が6月19日に行われ、福岡市や北九州市などから11家族・25人が参加しました。会場は同会会員の飯田かよ美さん宅のりんご園(45アール・7種を栽培)。参加者は、渡された袋に名前を記入、直径4センチほどの果実に袋をかけていました。8月中旬から9月中旬の収穫を迎える頃には、「収穫祭を開きたい」と同会。

昼食には「猪なべ」なども準備され、参加者は心ゆくまで「農村の休日」を過ごしていました。

九重グリーン・ツーリズム研究会が主体となって参加者を募るイベントは今回が初めて。

「ベルトコンベア式に詰め込むのではなく、ゆったりとメニューを組んでみた」と話す同会は「田舎には教育の源がある」と「子ども教育」を活動の柱の一つにしています。今回の体験会には、地元中学生1人が参加していました。

お金がかからず、おいしくて、楽しい。これはぜひ、ほかの地区でも広めてほしい。そんな試みが海上地区で続いている。

同地区的友遊（ゆうゆう）会が年に1回開いている交流会。一見、普通の焼肉パーティですが、ちょっとした工夫で10年以上続く

会になっています。今年は6月11日に行われ、

5ヶ月から65歳まで約30人が参加。会場は2人の世話人の家庭を交互に利用。世話人曰く、秘訣は、いい意味での「いらん世話」。頼

まれたわけでもない。自分たちが自主的に段取りをかつて出てするから」と会のネーミング「いらん世話会」の由来を説明。

「お世話するのはぜんぜん苦痛でない。強い心配と言えば買物でお金を立て替えてい

るとき（冗談）。自分たち（世話人）が楽し

んでいるのが伝わるから、みんなも気軽に参

加してもらえるんじやないかな」

使用する肉はスーパーの値札付きパック。

飲み物は缶ビール。使う分しか開封しません。

このことで、計算がしやすくなり、余った分は世話役が買い取り。明瞭会計の結果、ひとり800円もかかるらしいそうです。1軒から2人以上出たときは2人目以降が半額で、野菜とおにぎりは持ち寄り。集まつた人から順次飲み始めるそう。

「辛抱しているわけがない。飲み物、食べ物はふんだんにある。無駄をけずつただけ」と世話人の一人。今年も3,000円以上を次の年に繰り越すことができました。

「開会のあいさつや乾杯も一切なし。会計報告も『さしつ、さされ』もなし、各自のベ

ースで、何人集まらんといけんというのもな

い。参加しなくても『なし、あんしは来んとじやろうか』というのもなし」

確かにこの種の催しに参加・不参加は個人の自由。他人がとやかく言うことこそ「いらん世話」。そんな自由な雰囲気こそ、この会が長く続いた一番の理由のようです。

夕方から始まつた「いらん世話会」。今年も10時半頃まで、にぎやかに続いていました。

「いらん世話」で楽しく

安い!
おいしい!
楽しい!!



今日から ボランティア 「仲間」にも



▲ペットボトルの捨て方を「分別シート」でチェック



南山田にある「仲間会」（宝珠山公昭会長）の道路清掃が6月19日に行われました。同会員の共通項は「淮園小学校卒業生」、「同級生」というわけではなく40代から50代まで年齢はバラバラ。月に一度、会員の家庭をまわり、酒なしの懇親会を30年以上続けてきました。今回「地域に貢献を」と考え付いたのが道路清掃。この日はおそらくのジャンバーも新調。15人の会員のうち10人が参加し、ごみの分別方法などの再確認を行った後、2班に分かれ、壁湯から麻生鈎までの国道387号線沿いを約2時間かけてごみ拾いをしました。

同会では、今後2回のペースでボランティア活動を続けたいと話していました。

名所健在

宝泉寺温泉ほたる祭り



淮園小6年生の
作文発表

宝泉寺温泉ほたる祭りが5月28日から7月2日までの毎週土曜日に宝泉寺温泉で行われ、多くの人が訪れました。「町田川にもう一度ホタルの乱舞を」と河川清掃などの活動から始まったこのお祭りも今年で12回目。宝泉寺温泉一帯は「ホタルの名所」として全国的に有名になりました。

5月28日のオープニングで坂本町長は「多くの人が取り組んだ結果、あちこちにホタルが見られるようになった。この環境を後世に残す努力を続けたい」とあいさつ。この日は長年ラブコールし続けたという「森高音楽部」32人が登場。アンコールを含め5曲を演奏しました。また、地元の淮園小学校で総合学習の一環として取り組まれているホタル養殖についての感想を同校6年生の3人が発表しました。

今年のホタルの出現は平年より若干遅かったものの、量は平年並み、出現期間は長かったそうです。



「九重の自然を守る会」（鶴田裕雄会長・305人）による「九重・自然観察ガイド研修講座」が始まり、6月19日にやまなみ荘（長者原）で開講式が行われました。次世代のガイド育成と会員の学習のために始めたもので、このため名称も「養成講座」ではなく「研修講座」。新規の応募は県内外から32人。今後、月1回のペースで講座を開いていきます。生息する植物や昆虫だけでなく、地質や歴史など、飯田高原の奥深さを学ぶため、研究期間は3年間。同会が自然観察会などを実行しています。

「九重の自然を守る会」は昭和36年（1961）年設立。自然観察会（右写真）は20年以上続いている。日曜・祝日を中心開催。昨年は延べ1461人の参加がありました（80回開催）。今年度についても観察会のほか、「樹名板や果樹箱の設置」、さらには40周年事業の一環として「記念碑の建立に向けた取り組み」や「植物図録の作成」を行う予定です。

教え、 教えられ、 自然を守る



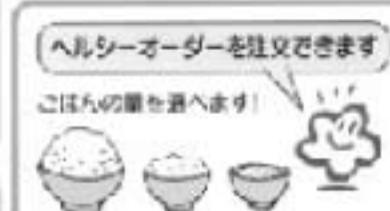
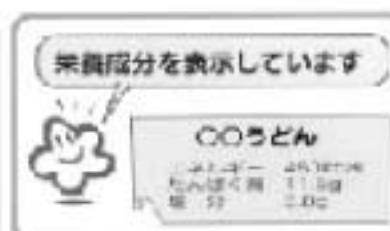
外食を利用するときに

保健

何気なく入ったお店。

そこが、あなたの健康づくりを手伝ってくれるお店だったら・・・。

例えば



このような取り組みをしているお店が九重町には6店舗（大分県内に194店舗）あります。この6店舗は「健康応援団」として登録していただいているお店です。

「健康応援団」とは

大分県では、県民の食の分野に関連の深い事業所（店舗）を「健康応援団」として登録してもらい、食の健康づくり環境の整備を図っています。

健康応援団募集中 !!

同じような取り組みを実施している事業主の方は、「健康応援団」としてご登録ください。

町内の健康応援団のお店を紹介します！ 第1回（全6回）

「光元園」

光元園の健康応援団メニュー（ヘルシーメニュー）は「ビビンバ」です。「食事で大切なことは、栄養バランスを整えることだと思います」と言う店主の光山さんがお勧めするメニューは「肉入りビビンバ」。肉入りビビンバは、野菜4種類・のり・たまご・肉から作られており、バランス良く食べることのできるメニューです。特に夏場は、のどごしの良いそうめんなどの淡泊な食事になりますが、栄養バランスが偏りやすくなります。簡単に食べられるバランスメニューは、夏バテ防止にも役立つお勧めのメニューです。

住所：九重町野上1494-4

電話：77-7811



▲「健康応援団ガイドマップを店内に置いていますので、ご活用ください」と光山さん。

「健康応援団の店を知りたい」「健康応援団に登録したい」等、健康応援団に関する問合せ先は、九重町保健センターです。また、大分県庁ホームページ(<http://www.pref.oita.jp/cgi-bin/12200/chen/index.cgi>)より情報収集できます。

心の病を考える地域学習会

日 時 8月23日 (火) 10:00~15:00

場 所 九重町役場 3階会議室

内 容 講演「精神疾患と家族の役割について（仮題）」

講師：奥村日田病院・寺尾大さん

*このほかに体験発表や共同作業所、腹話術「食は心と体の元気のもと（山本紀子さん）」など。

参加料は無料。昼食は当方で準備します。

参加希望等の問い合わせは、玖珠むつみ会共同作業所

(☎ 72-6306)まで

てんかん基礎講座

日 時 8月4日 (木)

13:00~16:00

会 場 日田市中央公民館第1会議室

講 師 大分こども病院 副院長 石原高信さん

演題：「てんかんの基礎知識と介助法」

参加費 1,000円

申し込みは日本てんかん協会大分県支部

(☎・FAX 097-527-5443)

本年は終戦60周年にあたることから、戦没者等のご遺族に対し改めて特別弔慰金が支給されることになりました。

支給対象者

平成17年4月1日において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

- ① 戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- ② 戦没者等の子
- ③ 戦没者等と生計関係を有していた（イ）父母（ロ）孫（ハ）祖父母（ニ）兄弟姉妹（戦没者等と生計関係を有していなかつた方、平成17年4月1日において婚姻により姓が

変わっている方又は遺族以外の方と養子縁組をしている方は除かれます）

- ④ 上記③以外の（イ）父母（ロ）孫（ハ）祖父母（ニ）兄弟姉妹
- ⑤ 上記①から④以外の三親等内の親族（戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた方に限られます。）

支給内容 額面40万円、10年償還の記名国債

請求期間 平成20年3月31日まで

請求窓口 九重町役場ふれあい生活課ふれあい福祉係（☎ 76-3802）

“心の悩み”巡回相談会



心の病などで悩みをお持ちの方や、そのご家族、お子様や高齢者の方など、どのような悩みでも気軽にご相談ください。

開催日・時間 毎月第4木曜日（15:00～16:30）

場所 九重町役場会議室

*役場が祝日で休みの場合は巡回相談会も休みとさせていただきます。

問い合わせ 九重町役場ふれあい生活課ふれあい福祉係（☎ 76-3802）

または、地域生活支援センター・ラム（☎ 0973-27-5477）

環境

廃棄物（家庭ごみなど）の野外焼却及び不法投棄は法律で禁止

庭先や空き地などの廃棄物（家庭ごみなど）の焼却は煙や悪臭などにより近隣の生活環境に深刻な被害を与えます。また、猛毒のダイオキシン等の発生原因にもなります。

違反者には罰則（3年以下の懲役または300万円以下の罰金）が適用される場合があります（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第26条）。

■これはダイオキシン対策の一環として不適正な廃棄物の焼却処理を絶つためです。

■軽微な「たき火」やあぜ草焼きなどの一部を除き、原則として禁止されています。

不法投棄の禁止（廃棄法第16条）

「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない」と定められています。この法律に違反したときは、法第25条の規定により「違反者は5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金」となります。

*自分の土地や他人の土地及び河川などへの投棄も禁止です。

野外でのごみ焼却及び廃棄物の不法投棄は、犯罪行為として警察による取り締まり対象となります。

犬の運動をするときは「フン」の始末をしましょう。

（美しく快適な大分県づくり条例第16条）

簡単なフンの始末の仕方



町の美観を損なわないために、犬のフンは飼い主が持つて帰りましょう。

図書館だより

★いつでもリクエスト受付中★

読みたい本が九重町・図書館になかった場合は、遠慮なく声をおかけください。

まず、パソコンで大分県立図書館の蔵書を検索します。県立図書館にあった場合は「協力貸出し」として予約し、こちらに送ってもらうよう手配致します。

※早ければ1週間以内に届きます。読み終わったら後はまた九重町・図書館へ返却して下さい。

また県立図書館にも無い場合は、リクエストカードに書名・著者名・出版社等を記入し司書にお渡しください。内容を考え購入を検討します。できるだけみなさんのご要望に沿えるよう努力していますが、高価なもの、コミックについては、購入が無理な場合もありますのでご了承ください。

※カウンターにリクエストカードを置いてありますので気軽にどうぞ！

《児童書》

ドラッグを知ろう 1~5巻
デルトラ・クエストⅡ 1~3巻
バッテリー 6巻
千年のかなた

あさのあつこ
カイ・マイヤ

《一般書》

人事の日本史
中国はなぜ「反日」になったか
犯罪者プロファイリング
問題な日本語
五木寛之の百寺巡礼 第8巻
教養のためのブックガイド
ダーリンの頭の中

遠山美都男 (他)
清水美和
渡辺昭一
北原保雄
五木寛之
小林康夫
小栗左多里

ケンタロウの野菜がうまいッ！

みみずくの夜メール2
夜ふけのなわとび
三味線ざんまい
ピーコとサワコ
何があっても大丈夫
風味絶佳
黄身に歌え
「別れる理由」が気になって
嫌な言葉を語る素敵な言葉
日銀券 上・下
四十日と四十夜のメルヘン
黙って行かせて
レターズ・トゥ・ミー

ケンタロウ
五木寛之
林真理子
群ようこ
ピーコ
桜井よしこ
山田詠美
なかにし礼
坪内祐三
岩井志摩子
幸田真音
青木淳悟
ヘルガ・シュ
アレックス・ロビラ

ほんの森
7月号

図書館開館時間
平 日 10:00~18:00
土・日 9:00~17:00
月・祝 休み

「新聞やテレビでこんな本を紹介していた！」「こんな分野の本を入れてほしい！」

リクエストは誰でもできますので、図書館をおおいに利用していただきたいと思います。

～夏休み期間中の開館時間の拡大について～

7月21日(木) ~ 8月31日(水) 夏休み期間中

平 日 午前9時~午後6時まで

(通常は10時からですが1時間早く開館します)

土・日：午前9時~午後5時まで (通常通り)

新刊案内

飯田こども園のイチゴ狩りが5月27日、大隈公武さん・アイ子さん夫婦宅(年の神)のハウスで行われました。今年で12回目。公武さんの退職の際、「地域に恩返しを」と始められたもので、最初の頃の経験者はすでに高校生。「あの時はお世話になりました」と言われることもあるそうです。大隈さん夫婦は、この日のために昨年の冬から準備。50坪ほどのハウスには見事なイチゴがたくさん実っていました。訪れたのは、こども園年長組(4・5歳児)30人。全員イチゴが大好きな様子で、次々と口に。中には果汁で手が真赤になった子どももいました。アイ子さんから手作りのイチゴ大福のプレゼントもあり、こちらも大喜び。子どもたちは「うれしかった」「楽しめました」「砂糖みたいに甘かったです」といった感想を述べていました。採れたイチゴは、同園の年少組やブラン(デイサービスセンター)、飯田駅在所へのお土産にしたそうです。



大隈さん夫婦



今年も行われた
大隈さん家の大
イチゴ狩り

たっぷり召し上がり

ショッピングセンター・アミーでは「九重町商品券」を使い買物。かごの中には、寿司と蚊取り線香などが。

▶中央3集会所



県知事と直接対話

県知事が直接住民との対話をを行う「県政ふれあいトーク」が6月14日に町内で行われました。廣瀬大分県知事が就任以来行っているもので、昨年10月には58市町村（当時）1巡回を終了（九重町は平成15年11月に実施）。2,150人と対面しました。今回の「ふれあいトーク」は九重町にとっては2巡回。当日は「宝泉寺温泉おかみの会」と約1時間の懇談のあと、「九重ショッピングパークアミー」を視察。最後に中央3集会所で野上地区の住民と約1時間の対話をしました。

このうち中央3集会所には約50人が参加。「過疎問題」や「林業振興」「高校改革」「市町村合併についての知事の考え方」などについて質問があり、知事は一つひとつ丁寧に答えていました。

119番通報にご理解を

「オイ、いつまでも聞かんで早よー救急車出さんか」
119番通報の中で、たまに聞くこの「言葉」。
玖珠郡内や日田市内からかけた119番通報は、すべて日田市内にある日田玖珠広域消防本部の通信司令室に入ります。そこでは2人の職員が同時に119番通報を聞いています。1人はあなたの通報を受けている職員、もう1人は救急隊への出動指令を行う職員です。あなたがまだ通話中であっても、救急隊はあなたのところへ向かう準備をしています。

救急車は出勤途中でも通信司令室と常に連絡を取り合つており、司令室は事故の状況やケガの程度などを救急隊へ送り、現場に到着した救急隊がより迅速な対応が出来るように現場の状況をお聞きしますので、あわてず落着いて、こちらの質問に答えてください。

119番



大分県政について話そう！

～県政出前講座

県では、県民のみなさんの会合（おおむね20人以上）に、県の幹部職員が出向いて、県の重点事業等の説明と意見交換を行う「県政出前講座」を実施しています。

なお、この講座は、苦情・要望等をお聞きするものではありません。また、政治・宗教・営利等を目的とした催しなど、県政出前講座の目的に反すると判断される場合は、講座をお断りすることがあります。

詳しくは、大分県企画振興部広報広聴課広聴班（☎ 097-532-3200）までお問い合わせください。

夏休み子ども工作教室

夏休みの工作の宿題は玖珠高で完成だ！！

1. 日 時 8月23日（火）9:00~15:00
2. 場 所 玖珠農業高等学校・造園土木科・造形実習室
3. 対象者 郡内の小・中学生20名程度
4. その他 使用材料はある程度準備していますが、プラスチックや金具・粘土など特殊なものは持参してください。保護者同伴歓迎。昼食・水筒・タオルなどは持参してください。
5. 申 込 8月5日（金）までに、ハガキに住所・本人氏名・保護者名・学年・性別を記入して次の所まで申し込んでください。

〒879-4403 玖珠町帆足160
玖珠農業高等学校 造園土木科 工作教室係

玖珠郡合同防災訓練



玖珠郡合同防災訓練が6月7日、玖珠川河川敷（玖珠町）で行われました。災害時の救助・復旧活動を着実にしようと行われているもので、今年で12回目。平成3（1991）年の台風災害をきっかけに始まったもので、今回も両町をはじめ消防団、自衛隊、警察署、九州電力など14機関が参加。「早朝、万年山断層でマグニチュード7.5の地震が発生した」を想定し、大掛かりな訓練が行われました。

こここのえ 農業委員会 だより

14号

平成17年度の組織機構の見直しで農林課と農業委員会が一緒になり、農林課長兼農業委員会事務局長となりました。よろしくお願ひいたします。

農林課の農地を「利用する側」と農業委員会の「農地を守る側」とが一緒にになったので、何かと混乱するのではないかと心配される向きもあるかと思いますが、そこは農地法に基づき、それの立場を遵守して対応していくままで心配ありません。農業を取り巻く情勢は依然として厳しい中、農業をめぐる急激な変化に対応できる足腰の強い組織の確立は急務ですが、過疎化や高齢化によって担い手不足となることは必至で、遊休農地の増加が見込まれます。むしろ、このような状況に対し、課題解決の取り組みは（従来の農林課と農業委員会で）共有されており一体化したことは適切な措置といえます。

農業委員会の役割と使命については、平成16年3月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画で、担い手への農地利用集積は農業委員会が中心になつて、と明記されています。また、昨年改正された農業委員会法では役割として、①「遊休農地の発生予防・解消」②「担い手への土地の利用集積」と認定農業者や農業法人など担い手の育成・支援が重点化されています。

農業委員会は農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り農民の地位向上に寄与するために組織されています。この目的に達するには認定農業者等との意見交換会などを踏まえた現場での農政活動が不可欠となります。また、地域住民や消費者などの交流、食農教育といった地域活動も重要な要素となります。このためには、農業委員一人ひとりの活動計画と達成目標を立てることが第一歩であるとされています。委員のみなさんのご奮闘を期待し、農業委員会に対する町民のみなさんのご理解と各種事業へのご協力をお願いします。

A Q

農家のためのQ&A

農地に植林した場合は、いつから農地でなくなるのですか？農地に用材林地とする目的で樹苗を植栽する行為は、農地を農地以外のものにする行為ですから、あらかじめ農地法第4条または第5条の農地転用の許可を受ける必要があります。この場合、いつから農地以外の土地になるかというと、苗が成長して樹木の様相が森林と変わらない状態となつたときです。したがって、このような状態になるまでの間に、この土地をさらに転用するとか、他に転売するような場合には、再度農地法の許可が必要です。（「農地の法律がよくわかる百問百答」より）



標準小作料の改定（平成17年～20年）

九重町では標準小作料を設定するにあたり農業者の意向を反映させるため、農業委員会の諮問機関として九重町標準小作料協議会（農地の貸し手を代表する人・借り手を代表する人・学識経験者で構成）を設置し、3年に一度見直しを行っています。

今年度は改定の年にあたり次のように改正されました。実際にはいろいろな条件が加味され貸し手・借り手の話し合いによりますが、利用貸借の参考資料としてご利用ください。

（田の部 10aあたり）

農地の区分	地 域	水 利 系 统	小作料の標準
第1地域	平坦（恵良地域のは場整備された土地）	玖珠川・松木川	17,000円
第2地域	準平坦	玖珠川・町田川・野上川	9,000円
第3地域	平坦（干町無田地域のは場整備された土地）	鳴子川・音無川	12,000円
第4地域	高冷地・山麓地	雜小河川	5,000円

九重町職員募集要項

九重町職員採用試験を次のように行います。

採用職種及び受験資格等

第1次試験

日 時	平成17年10月16日(日)
場 所	大分東明高等学校(大分市千代町2-4-4)
電 話	097-535-0201
受付時間	9時00分～9時30分
試験時間	10時00分～12時00分
試験の内容	大学卒業または高等学校卒業程度の教養試験 5枚折一式筆記試験 40問 120分

職種	一般行政職(高校卒業程度)	一般行政職(大学卒業程度)	保育士・幼稚園教諭
採用予定人員	若干名		
学力・年齢等	学歴は問いませんが、高等学校卒業程度の学力を有する人で、昭和56年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた人。ただし、大学卒業(卒業見込)の人は、受験不可となります。	学歴は問いませんが、大学卒業程度の学力を有する次のいずれかに該当する人。 ①昭和54年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた人。 ②昭和59年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業又は平成18年3月までに卒業見込の人。	学歴は問いませんが、高等学校卒業程度の学力を有する人で、昭和56年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた人。 ただし、保育士資格及び幼稚園教諭の資格を有する人、又は平成18年3月31日までに保育士資格及び幼稚園教諭資格取得見込みの人。
身体的条件	特になし		
国 藉	日本国籍を有しない人も受験できます。 ただし、日本国籍を有しない人は、採用時に職務に従事可能な在留資格がない場合は採用されません。また、日本国籍を有しない人の任用にあたっては、「公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わる職に就けない」という公務員の基本原則に沿った任用が行われます。(詳しくは4の欄日本国籍を有しない人の任用についてを参照してください。)		
そ の 他	①地方公務員第16条(欠格条項)に該当しない人。 ②平成18年4月1日の採用に応じられる人。		

受験手続き

1 願書受付期間

平成17年8月8日(月)～9月5日(月)

月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時まで

2 願書の請求及び提出場所

九重町役場 総務課(提出は持参に限ることとし、郵送不可。なお、代理持参可)

3 提出書類

① 職員採用試験申込書(願書) 1部

② 写真 2枚(縦40mm×横30mm) 上半身脱帽、正面にて申込前3ヶ月以内に撮影したもの

※職員採用試験申込書の受験票及び履歴書にあらかじめ貼り付けておくこと

③ 履歴書(町の指定する様式) 1部

4 日本国籍を有しない人の任用について

① 携わることのできる職務について

次のような「公権力の行使」に該当する職務には従事することはできませんが、それ以外の職務には従事できます。(公権力の行使に該当する主な職務の例)

○ 税の賦課決定、徴収、滞納処分

○ 法令(条例及び規則を含む。以下同じ)に基づく許認可

○ 法令に基づく行政上の即時強制、立ち入り検査、取り締まり

○ 公物管理権に基づく権力作用の行為

○ 法令に基づく補助金、交付金、貸付金等の決定事務

○ その他、行政目的を達成するために法令によって認められた権能に基づいて一方的な判断で町民の権利義務その他の法的地位を具体的に決定する行為

② 専任について

原則として課長級に任用される職及び管理職等(人事担当係長、財政担当係長、園長)には任用されません。

5 そ の 他

① 職員採用試験申込書に付随する受験票については、第1次試験当日総務課職員が持参しますので返送しません。よって、受験票に切手を貼る必要はありません。

② 第1次試験の合格発表及び第2次試験等については後日、本人宛通知します。

③ 第1次試験合格者については、次の書類を提出していただきます。

・平成17年7月1日以降発行された卒業証明書(在学中の人は卒業見込証明書)なお、卒業見込証明書が取れない場合は、理由を記し、在学証明書 1通

・平成17年7月1日以降発行された学業成績証明書 1通

・保育士・幼稚園教諭に応募する人は、児童福祉法施行令に規定する保育士及び教育職員免許法に規定する幼稚園教諭免許の写又は取得見込証明書 1部

④ 受験資格がないことが判明した場合は、合格を取り消します。

問い合わせ先

採用試験等についての問い合わせは

電話 0973-76-3800(内線217)

住所 〒879-4895 九重町役場 総務課 総務秘書係

※九重町のホームページにも掲載しています。

<http://www.town.kokonoe.oita.jp/>

くらしの情報

「求人情報自己検索システム」が導入されました

求人情報をパソコン(タッチパネル式)で検索できます。

利用時間 8:30~17:00 (土・日・祝は除く)

*雇用保険の受給手続きは当相談室では行いません。

玖珠郡職業相談室(くすまちメルサンホール裏)

☎ 73-9068

しいたけ原木栽培新規参入研修

時 期 10月1日~3月31日

研修は①栽培体験(3日間)、②生産技術習得(通い3ヶ月間)、③就業定着支援(通い6ヶ月間)の3コース。研修参加費は無料(交通費等は自己負担)。

申込期限 8月末まで(募集は3コース合計で40人程度。多数の場合は選考)

問い合わせ 玖珠九重地方振興局林業課 ☎ 72-3111

平成17年度防衛庁各種学生募集案内

募集種目	応募資格	1次試験	試験会場
一般曹候学生	18歳以上24歳未満の人(男女)	9月17日	日田市役所
曹候補士	18歳以上27歳未満の人(男女)	9月17日	日田市役所
航空学生	高卒(見込み)21歳未満の人(男女)	9月23日	大分県中小企業会館
2等・陸・海・空士	18歳以上27歳未満の人	受付時に指定	日本文理大学

受付は8月4日(一般曹候学生は8月1日)~9月8日
詳しくは役場ふれあい生活課又は大分地連玖珠連絡所
(☎ 72-1116 内線371)

大分県奨学会予約奨学生の募集について

1. 高等学校等緊急支援奨学生

対 象 中学校3年生で平成18年4月に県内の高等学校・高等専門学校に進学を希望している人のうち、優秀な資質を有し、経済的理由により修学が困難な人

募集期間 9月中旬まで

貸与月額 (高等学校・高等専門学校同額)

国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外
18,000円	23,000円	30,000円	35,000円

無料日曜遺言公証法律相談

相談担当 日田公証役場公証人

予約 制 平日に事前電話受付します。

(予約電話番号 0973-24-6751)

相 談 日 (いずれも日曜日) 7月分は24日

8月分は7日と21日

9月分は4日と18日

場 所 日田公証役場

(日田市田島2丁目 日田市役所前交差点南東角)

相談内容 遺言のほか、相続、高齢者等の財産管理、土地・建物の賃貸借、金銭貸借、離婚、尊厳死宣言、会社定款など

オープンキャンパスご案内

日 時 平成17年7月25日(月) 13:30~16:00

場 所 大分県立工科短期大学校

(中津市大字東浜407-27)

設置学科は生産技術科・制御技術科・電子技術科・住居環境科の4学科です。

当日は実習等を再現するほか、各科の概要説明や受験案内も行います。

ぜひ、この機会にキャンパス見学に来てください。
大分県立工科短期大学校 ☎ 0979-23-5500

新規大学等卒業予定者就職面接会

日 時 平成17年7月21日(木)

受付10:00~、面接会10:30~15:00

場 所 トキハ会館(大分市府内町)

対象者 平成18年3月大学・大学院・短大・高専・専修学校等卒業予定者(平成17年度の既卒者を含む)

参加希望の事業主の方は「ジョブカフェおおいた」または「ワークプラザ」にお申し込みください。

参加を希望される学生の方は、履歴書を持参のうえ、直接会場にお越しください。

問い合わせ先・申し込み先

ジョブカフェおおいた ☎ 097-533-8878

ワークプラザ ☎ 097-533-8600

2. 高等学校等育英奨学生

対 象 中学校3年生で平成18年4月に県内の高等学校(盲・ろう・養護学校の高等部を含む)又は専修学校高等課程へ進学を希望している人のうち、優秀な資質を有し、経済的理由により就学が困難な人
募集期間・貸与期間・貸与月額は、左記の高等学校等緊急支援奨学生と同じ。

貸与期間 平成18年4月から在学する学校の標準修業期間の終わる月まで

問い合わせ先 (財) 大分県奨学会

☎ 097-536-1111 内線5614・5620

または各学校の奨学生担当の先生へ

8月10日は「道の日」

8月1日～31日は「道路ふれあい月間」です。
建設課（☎ 76-3811）

8月1日は「水の日」

8月1日～7日は「水の週間」、水は限りある貴重な資源です。8月10日（火）正午は「全国いっせい打ち水大作戦」。

平成17年度狩猟免許試験

	種類	日付
試験①	捕・わな猟	8月19日（金）
	第1種・第2種鉛猟	8月18日（木）
試験②	捕・わな猟	9月25日（日）
	第1種・第2種鉛猟	9月24日（土）

時間はいずれも午前9時～午後5時

会場 試験①は大分県日田総合庁舎（日田市城町1）、
試験②は大分県共同庁舎（県庁）

申請書の受付期間

試験①は7月25日～8月5日、試験②は9月1
日～9月16日

詳細については玖珠九重地方振興局林業課（☎ 72-3111）

大分県警察職員募集

試験種類	区分	公募数	受験年齢 (17歳以上)	第一次試験日	受付期間
警察官（ 高卒程度）	一般	28名	17歳～30歳の男性	10月16日 (日)	8月5日（金） ～ 8月24日（水）
	一般	2名	17歳～30歳の女性		
県職員 (初級試験)	警察事務	1名	17歳～20歳	9月25日 (日)	

問い合わせ 大分県警察本部警務課人事係
(☎ 097-536-2131)
または玖珠警察署（☎ 72-2131）

ボイスカウト新団員募集

ボイスカウトは、自立心のある健全な青少年を育てる世界的な社会教育運動のひとつです。少年たちの好奇心や探求心にこたえる活動を通して、心身ともにバランスのとれた人格の形成をめざしています。

野外活動を通じて、自然を学び、友情や協調の精神を育てることが中心です。土曜日の午後や休日に集まって、工作やゲーム・歌・演劇などの活動、手旗やロープなどの練習、キャンプ生活の基本を勉強します。春休みや夏休みには長期キャンプがあります。

対象 町内の小学校4・5・6年生（男・女）

費用 月500円程度（当初は制服・用具代が必要）

入団方法 所定の「申込書」に必要事項を記入の上、ボイスカウト玖珠第3団隊長・森昌哉さんとのところまで提出してください。

お問い合わせは、生涯学習センター（☎ 76-3888）または森昌哉さん（☎ 73-5515）まで。

自動車税・夜間納税（相談）窓口開設

自動車税の納期限（平成17年5月31日）を過ぎていますが、何らかの事情でまだ納付されていない方を対象として、夜間納税相談窓口を開設します。お気軽にお越しください。

なお、仕事の都合で日中、金融機関等で納付できなかった方もこの機会にご来庁の上、納税してください。

日時 8月4日（木）午後5時～午後8時

場所 九重町役場1階101会議室

*1回で納税できない方については個別に相談に応じます。

*問い合わせ先は日田県税事務所（☎ 0973-22-4175）

平成17年度狩猟免許更新

日時 9月1日（木）午前9時～午後5時

場所 大分県日田総合庁舎

種類は全種。対象は平成14年度に狩猟免許を取得した人。

受付期間は8月8日（月）～8月19日（金）

詳細は玖珠九重地方振興局林業課（☎ 72-3111）まで



平成17年町内地区別事故発生状況（実計、属性）

地区別	人身事故		物損事故		件数計
	死者	負傷	件数	事故	
東飯田	0	5	4	16	20
野上	0	9	7	23	30
飯田	1	27	13	97	110
南山田	1	19	11	37	48
計	2	60	35	173	208

（平成17年6月末現在）

障がい者就職面接会の開催

障がい者の就職の促進を図るために、障がい者と事業主を対象とした面接会を次のとおり開催します。

参加を希望する障がい者や事業主の方は、最寄りのハローワークまでお問い合わせ願います。

日時 9月22日（木）午後2時～

場所 （大分市）大分東洋ホテル2階二豊の間

ハローワークひた（☎ 0973-22-8609）

今月の年金相談

日時 7月27日（水）10:00～15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税

納期限 8月1日

【国民健康保険税】（仮算定）

幸せになろううね

人権

心の扉

NO.115

15歳の少年の事件が続き、毎日のようにテレビで報じられています。兄にいじめられたことによる恨みが殺害におよんだり、

誰もが自分の理想に向かって生きています。様々な課題に取り組み、大きな困難にぶつかり、立ち止まつたり、諦めてしまつたり。でも現実をしつかり見て、自分を信じて生きています。

私の好きな歌の歌詞に

野に咲く花のように

雨にうたれて

野に咲く花のように

人をなごやかにして

そんなふうに僕たちも

生きてゆけたらすばらしい

ときにはつらい人生も

雨のちくもりでまた晴れる

とあります。みなさん、この歌を知っていますか？

自分自身の人生、すばらしく

生きてゆけたらいですね。

父親の一言で親への殺意をいたさ事件を起こしてしまつたり。そんな子どもの心の奥に何があるのでしょうか？同じ年の子どもを持つ親として心を痛めます。報道によると少年は、動搖することもなく「何も感じない」。自分の気持ちや感情が見えなくなっているといいます。最近の子どもたちの中での「気持ち」との付き合い方が苦手になつたり、相手の「気持ち」を理解することが苦手だったりする子どもたちや、生命の大切さを感じきれない子どもたちが増えているそうです。

「ぬちどうたから」—「命こそ宝」という沖縄の言葉があります。

今こそもう一度「ぬちどうたから」を皆で考える必要があると思います。

第30回 人権を考える講演のタベ

世の中ここがちょっとヘン
～人権尊重の

まちづくりのために～

講師 素 淑玉さん

7月20日(水)
よる 7:30より
九重文化センター

生きる

「ぬちどうたから」—「命こそ宝」という沖縄の言葉があります。

今こそもう一度「ぬちどうたから」を皆で考える必要があると思います。

第30回 人権を考える講演のタベ

世の中ここがちょっとヘン
～人権尊重の

まちづくりのために～

講師 素 淑玉さん

7月20日(水)
よる 7:30より
九重文化センター

=平成17年7月・8月休日当番=

病院	月	日	医療機関名	住所	電話
7月	18日	小中病院	塚脇	72-2167	
		飯田高原診療所	飯田	79-2138	
	24日	高田病院	春日町	72-2135	
		矢原医院	野上	77-6121	
	31日	長内科小児科腎臓科医院	春日町	72-2143	
		麻生消化器科内科医院	山田	72-7100	
8月	7日	三池循環器科内科医院	塚脇	72-6101	
		友成(町田)医院	町田	78-8811	
	13日	玖珠記念病院	塚脇	72-1127	
	14日	井上医院	恵良	76-2711	
		北山田クリニック	北山田	73-2030	
	15日	友成(産婦人科)医院	塚脇	72-0330	
		武田医院	森	72-0170	
	21日	小中病院	塚脇	72-2167	
		飯田高原診療所	飯田	79-2138	

歯科医	月	日	医療機関名	住所	電話
7月	18日	北山歯科医院	旧大山町	0973-52-3553	
	24日	玉井歯科医院	九重町	76-2018	
	31日	おおくら歯科医院	日田市	0973-22-0222	
8月	7日	アップル歯科医院	日田市	0973-24-7710	
	14日	(日田)粗良歯科医院	日田市	0973-24-0580	
	21日	長尾歯科	玖珠町	72-7122	

獣医	月	日	獣医師名	電話
7月	17日・24日		佐藤獣医	77-6448
	8月	6日・14日・27日		
7月	23日・31日		山本獣医	78-9101
	8月	13日・21日		
7月	18日・30日		甲斐獣医	76-3324
	8月	7日・20日・28日		

スタン	月	日	店名	月	日	店名
7月	24日	森石油	8月	14日	自由営業	
	31日	自由営業		21日	小幡石油	
8月	7日	自由営業		28日	河野石油	

備考 大分県中西部農業共済組合 0973-3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署: 救急は119番 72-2141 火災の確認は 72-5100

歳時記

季題

8月号

「滝」「盆」

「蝉」

(7月25日締切)

9月号

「天の川」「稻」

「馬貞忌(馬貞の忌)」

(8月25日締切)

今月の季題

「夏」「夕焼け」

「若僧の声凜として夏座數」聞かれた座敷に響く絶妙の声。「犬引いて犬から引かれ夕焼け雲」晴天の明日を控え、心の落ち着いた夕べ。夕焼けは四季全てあるが晴天の続く夏に多いので夏の季語。しかし「夏の夕焼け川渡れ」と雲の多い夕焼けは雨の予報。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町居となたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課瓜坂係までご応募をなさい。応募作品は返却しません。

若僧の声凜として夏座敷
犬引いて犬から引かれ夕焼け雲
紋服の先祖の遺影夏座敷
雨色の祈りもむなし夏の空
上弦のほそくて赤き夏の月
宝山白練一筋夏の空
若き頃友とはしごの夏祭り
夕焼けや空にトンビのわをかけて
夕焼けを見せて上げたい亡き吾子に
夕焼けに呼び止められて二歩きがる
追越して微笑み返す夕焼け雲
野良仕事背に夕焼けを急ぎ足
青野山夕焼照らし絵になりて
夕焼けの大万年山のシルエット

伊東 匠子	小野十三日	清竹 勇藏	松本まち子	玉井多喜子	原田 孟一	佐藤 修正	藤澤 幸子	赤峰 原田	井上 マキ	堀 岩尾	佐藤 元八	寿子 奈加
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

添削がありますのでご了承ください。 広報

な薪炭、つまり燃料源であり、また巨木は建築・土木（橋）、木材などの用途として重要な役割を果たしてきた。

山林原野からの豊かな恵みは、古くから共同用益権による地域社会の入会地として存在した。江戸時代この山林原野は、その所有形態により幕府が直接管理する「御林山」（御山・御立山）、村が管理する村民共同の「村持山」（百姓山・入会山）と、個人に属する「百姓山」などがあつた。

明和八（一七七一）年四月の「不定小物成取立上納之証書上帳」（上旦 麻生二三子氏所蔵）によると、上旦村、下旦村では元禄七（一六九四）年より薪馬札三枚を日田代官所より下附されていた。上納金を納めて松木村平家山の御林に、薪を伐りに行っていた。

明和八（一七七一）年四月は正保二（一六四六）年幕府の命で長崎へ赴き、その帰封してきた二万石の大名。吉

月一日下野国壬生城主から移

封して二万石の大名。吉

明は正保二（一六四六）年幕

府の命で長崎へ赴き、その帰

路「平家山」という次の漢詩

を作った。

ここのはじめ旅行

ふるさと再発見 137

地名を歩く 平家山～その3

九重町文化財調査員 甲斐素純

伝説を紹介する前に、「平家山」という字が書物に登場するのは、江戸時代になつてからようである。平家山は森藩領・天領（幕府領）とが境を接しており、深山でもあり樹木に恵まれていた。森藩では、参勤交代に使用する藩主久留島氏の御座船用の船材なども、江戸藩邸の建築材などもこの山から伐採され、別府湾の一角にある頃成港へ運ばれた。

また平家山の「御林」では、薪などが伐採された。つい近くには山林原野に自生する樹木は、人々の生活に不可欠

伝聞平家此山籠
盛者必衰一夢中
紅葉戰時雲時起
赤旗白旆似飄風

田から日出生台を経て別府や

府内（大分）へ行く古道につ

いて記したが、「豊後国絵図」についても若干記した。その内の一箇所は「正保豊後国絵図」には、面白いことに平家山が二箇所表示されている。一箇所は竜門の滝のすぐ左側で（これは正しい）、もう一箇所は「松木村」の村表示のすぐ南側に

ある。現在の青野山の位置を、平家山と表記している（誤り）。国絵図には山名の表示がそう多くなく、当時「平家山」が

多くの人々に認識されていた証拠ではなかろうか。

次に、平家山を詠んだ漢詩がある。紹介する。作者は

府内城主日根野吉明で、吉明

は寛永十一（一六三四）年七

月一日下野国壬生城主から移

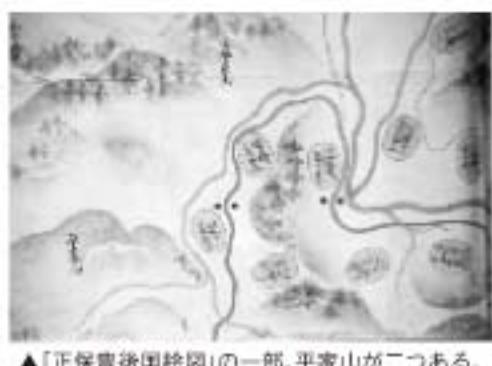
封して二万石の大名。吉

明は正保二（一六四六）年幕

府の命で長崎へ赴き、その帰

路「平家山」という次の漢詩

を作った。



▲「正保豊後国絵図」の一部。平家山が二つある。

弔慰

お悔やみ申し上げます

人の動き

おめでとうございます

出生

おなまえ	年齢	行政区
熊谷 和子	80	湯坪下
中村ミナト	92	年の神
長野ユキ子	73	中村
帆足 鎌忠	79	下旦六
日野ハツエ	91	引治一
隆橋ツルエ	81	中央二
河野 義人	72	平家山
惠藤 初美	35	見良津
後藤 隆生	68	川下南
河野 文子	91	栗野本村
佐藤 春男	62	年の神

6月1日～6月30日届出分

(微称略)

人口と世帯

人口 11,620人 (+ 7)
 男 5,537人 (+ 10)
 女 6,083人 (- 3)
 世帯 3,904 (+ 6)
 ()は前月との増減

おなまえ 性別 保護者 行政区

熊谷 莉沙	女	優一	書曲三
小野 虹輝	男	宏幸	引治二
田川 慶花	女	正治	中村上
隆山 朔	男	聰	串野上
片田 啓翔	男	裕一	栗野本村

九重文化センターは全面禁煙です

九重文化センターは6月より

全館・全面禁煙となりました。

喫煙所は玄関を出て左側にあ

ります。みなさんのご理解と

ご協力をお願いします。



イベント

第11回飯田高原ブルーグラスフェスティバル

7月23日(土) 13:00～22:00

7月24日(日) 9:30～14:00

場所 飯田高原・風の丘

入場料は2日間通して1,500円

問い合わせ ☎ 79-3556 (龜田さん)



亀工房コンサート ハンマーダルシマーとアコースティックギターのコンサート

8月5日(金) 19:30～

場所 九重町隣保館

入場料(前売り) 大人1,500円、高校生1,000円。

中学生以下無料

問い合わせ ☎ 76-2310 (麻生さん)



九重サマーミュージックフェスティバル

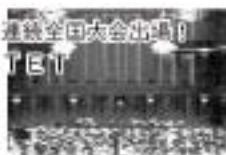
福岡西陵高校管弦楽部 全国学校合奏コンクール4年連続全国大会出場

ゲスト 杉谷昭子(ピアノ)・GOLD QUARTET

8月6日(土) 14:00～(開場13:30)

場所 九重文化センター 入場料500円

問い合わせ 九重文化センター (☎ 76-3888)



もくじ

8月のお知らせ

町長と語る
ふれあいタイム8月27日
(第4土曜日)午前10時～午後4時
(日中開催)場所は町長室です。
お気軽においでください。

■ 特集この町だけにないもの プロードバンド空白地帯解消に向けて	2
■ 植樹化推進計画事の概要	16
■ つるがの里記念待完成	18
■ 農業青年交流会／グリーンツーリズム	19
■ いらんせ活会／仲間会ボランティア	20
■ 宝珠寺温泉ホタル祭り／ 自然を守る会ガイド研修	21
■ 保健／福祉／環境 巡回部よりこども園イチゴ狩り	22・23
■ 健康事あいトートーク	24
■ 農業委員会より	25
■ 九重町職員採用試験	26
■ くらしの情報	27
■ 入権／休日当番	28
■ 離島記／こここのえ時間旅行	30
■ おめでとうございます	31

「町にとつて、あまり名前でないことを大きくなりあげました。高速インターネット(プロードバンド)がこれほど普及したのは民間業者のがんばりに負うところが大きいのは事実なり言い訳がましいですが、広くて人口の少ないこの町が空白地帯となつてしまつたのも同情の余地は、ほんの少しだけあります。しかし困っている人がとても多い現実が歴然とあります。何とかしなければ」とゼンエツながら立ち上がりたわけです。●今回、特集の準備をしているとき、どうからかウワサを聞きつけて「とてもうれしい」「がんばつてください」といって声援を何人かからいただいたときも、駄目でした。こんなのは初めて。それほど「切実な問題なんだと改めて感じるとともに、きちんと自分の意見を持ち、まちづくりに向かおう」という人が多いのも再認識です。●「あれではないこと」を日々と出すことを許す。●「光が見えて、住民のみなさんと取り組んでいきましょう」という行政機の姿勢をばらしいです。●「あれではないことは、手にしたとき、九重町なら「この町に生きる」まで、まだいることがあります。●「光が見える」まで、まだいることがあります。●「この町だけにないもの」を生み出すことが出来ます。●「この町だけにないもの」を生み出します。●「この町だけにないもの」を生み出します。

Kochi-T

編集後記